

**令和 6 年度**

**年間指導計画・評価計画**



**式根島学園**

**式根島中学校**





国語科 年間指導計画・評価計画 第7学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
年間	漢字	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</li> </ul>
4月	言葉に出会うために ガイダンス 野原はうたう	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。</li> </ul>	<b>【書くこと】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。</li> </ul>
5月	学びをひらく シンシユン 情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン：比較・分類 情報を整理して書こう 漢字の組み立てと部首	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。</li> <li>部首の種類などの理解を深め、部首を手掛かりに漢字の意味を推測できる。</li> </ul>	<b>【書くこと】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</li> </ul> <b>【読むこと】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。</li> </ul> <b>【話すこと・聞くこと】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。</li> <li>進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。</li> <li>集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。</li> </ul>
6月	新しい視点で ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 思考のレッスン1：意見と根拠 話の構成を工夫しよう 文法：言葉の単位 情報社会を生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容から段落の役割や文章の構成を理解している。</li> <li>比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。</li> <li>原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。</li> <li>単語の類別について理解している。</li> </ul>	<b>【書くこと】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</li> </ul> <b>【読むこと】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。</li> </ul> <b>【話すこと・聞くこと】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。</li> <li>話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。</li> <li>単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。</li> <li>引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。</li> </ul>

7月	<p>言葉に立ち止まる 詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 文法：指示する語句と接続する語句 読書を親しむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。</li> <li>・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。</li> <li>・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見直しをもって詩を創作しようとしている。</li> <li>・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。</li> </ul>
9月	<p>心の動き 大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに 聞き上手になろう 項目を立てて書こう 推敲：読み手の立場に立つ 方言と共通語 漢字の音訓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。</li> <li>・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。</li> <li>・目的に応じて、必要な情報を選択して、書くことができる。</li> <li>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・共通語と方言の果たす役割について理解している。</li> <li>・漢字の「音」と「訓」の性質や歴史について理解している。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。</li> <li>・場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見直しをもって朗読しようとしている。</li> <li>・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見直しをもって考えを伝え合おうとしている。</li> <li>・進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。</li> <li>・集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。</li> <li>・粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。</li> <li>・今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。</li> </ul>
10月 ～11月	<p>筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン2：原因と結果 根拠を示して説明しよう 話題や展開を捉えて話し合おう 大阿蘇</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</li> <li>・意見と根拠の関係について理解している。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。</li> <li>・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見直しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。</li> <li>・根拠を明確にするために粘り強く考え、学習の見直しをもってレポートを作成しようとしている。</li> <li>・積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見直しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。</li> </ul>
11月	<p>いにしえの心にふれる いろは歌 竹取物語 故事成語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。</li> <li>・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。</li> <li>・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。</li> <li>・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。</li> <li>・進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。</li> <li>・積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。</li> </ul>

<p>12月</p>	<p>価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す 根拠を明確にして、意見をまとめよう 助言を自分の文章に生かそう 文法：文の成分 書写 読みやすく書くための楷書 読みやすく速く書くための行書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</li> <li>・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</li> <li>・文節の働きについて理解している。</li> <li>・点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。</li> <li>・楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。</li> <li>・文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。</li> <li>・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。</li> <li>・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>・根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。</li> <li>・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。</li> <li>・読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。</li> <li>・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の成分について理解しようとしている。</li> <li>・進んで穂先の向きや筆圧などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。</li> <li>・積極的に楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、学習課題を書こうとしている。</li> <li>・進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え、学習課題を書こうとしている。</li> <li>・進んで行書の書き方を理解し、学習課題を書こうとしている。</li> </ul>
<p>1月～ 3月</p>	<p>自分を見つめる 少年の日の思い出 随筆 構成や描写を工夫して書こう さまざまな表現技法 一年間の学びを振り返ろう 文法：自立語と付属語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・自立語と付属語の性質について理解している。</li> <li>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</li> <li>・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。</li> <li>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。</li> <li>・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</li> <li>・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</li> <li>・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見直しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。</li> <li>・今までの学習を生かして、積極的に自立語と付属語について理解しようとしている。</li> <li>・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</li> <li>・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見直しをもって随筆を書こうとしている。</li> <li>・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。</li> </ul>

国語科 年間指導計画・評価計画 第8学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
年間	漢字	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</li> </ul>
4月 ～5月	広がる学びへ 見えないだけ アイスプラネット 問いを立てながら聞く 情報整理のレッスン：思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 枕草子 熟語の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</li> <li>現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。</li> <li>熟語の構成の種類について理解している。</li> </ul>	【書くこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</li> </ul> 【読むこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。</li> </ul> 【話すこと・聞くこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</li> <li>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</li> <li>積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</li> <li>進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。</li> <li>伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</li> <li>進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。</li> <li>学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。</li> <li>粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</li> </ul>
5月 ～6月	多様な視点から クマゼミ増加の原因を探る 思考のレッスン：具体と抽象 魅力的な提案をしよう 文法：名詞 情報社会を生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>話や文章の構成や展開について理解を深めている。</li> <li>具体と抽象の関係について理解し、文章を具体化、抽象化できる。</li> <li>言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。</li> <li>名詞について理解している。</li> <li>各メディアの特徴を理解している。</li> </ul>	【読むこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。</li> <li>文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。</li> </ul> 【話すこと・聞くこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。</li> <li>資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。</li> <li>積極的に具体と抽象の関係を捉え、文章を具体化、抽象化しようとしている。</li> <li>粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。</li> <li>今までの学習を生かして、積極的に名詞について理解を深めようとしている。</li> <li>メディアの特徴を積極的に理解し、情報を客観的に分析しようとしている。</li> </ul>

7月	言葉と向き合う 短歌に親しむ 短歌を味わう 言葉の力 類義語・対義語・多義語 読書を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・翻訳による表現の違いを理解している。</li> <li>・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の効果を考え、描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えている。</li> <li>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見直しをもって短歌を創作しようとしている。</li> <li>・筆者の考え方について理解し、積極的に言葉についての考えを表現しようとしている。</li> <li>・類義語・対義語・多義語について理解し、積極的に語彙を増やそうとしている。</li> <li>・翻訳作品を読み比べ、積極的に表現の違いについて分析しようとしている。</li> </ul>
9月～ 10月	人間のきずな 盆土産 字のない葉書 聞き上手になろう 手紙や電子メールを書く・推敲 敬語 同じ訓・同じ音をもつ漢字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。</li> <li>・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。</li> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考え、描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</li> <li>・粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。</li> <li>・積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。</li> <li>・粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。</li> <li>・今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。</li> <li>・積極的に同音異義語を理解しようとしている。</li> </ul>
10月	論理を超えて モアイは語る 思考のレッスン2：根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 立場を尊重して話し合おう 文法：動詞、形容詞、形容動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や筆者の主張と根拠の関係を理解している。</li> <li>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・動詞、形容詞、形容動詞の活用形や活用の種類について理解している。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考え、描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や論理の展開について考えている。</li> <li>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く論理の展開について考え、学習の見直しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。</li> <li>・粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見直しをもって意見文を書こうとしている。</li> <li>・進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見直しをもって討論しようとしている。</li> <li>・今までの学習を生かして、積極的に動詞、形容詞、形容動詞について理解しようとしている。</li> </ul>
11月	いにしえの心を訪ねる 平家物語 徒然草 漢詩の風景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</li> <li>・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。</li> <li>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。</li> <li>・進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</li> <li>・積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見直しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。</li> <li>・進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。</li> </ul>

<p>1 2 月</p>	<p>価値を語る 君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 鑑賞文 書写 行書の書き方を学ぼう 行書に仮名を交えて書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</li> <li>・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解している。</li> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・点画が省略される理由と、主な省略のしかた・その理由を理解している。</li> <li>・行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを理解し、行書と仮名が調和するように、筆脈と筆圧の変化を意識した行書的な筆使いで書いている。</li> <li>・行書の字形の整え方を理解し、行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴、文字の大きさと配列に注意し、行書と仮名を調和させながら文章を書いている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。</li> <li>・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。</li> <li>・進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。</li> <li>・楷書と比較し、点画が省略されている部分を主体的に見つけようとしている。</li> <li>・行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。</li> <li>・行書とそれに調和する仮名について、これまでに学習したことを主体的に生かして書こうとしている。</li> </ul>
<p>1 月～ 3 月</p>	<p>表現を見つめる 走れメロス 文法：副詞、連体詞、接続詞、感動詞 構成や展開を工夫して書こう 話し言葉と書き言葉 送り仮名 国語の学びを振り返ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・副詞、連体詞、接続詞、感動詞の特徴について理解する。</li> <li>・話や文章の構成や展開について理解を深めている。</li> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。</li> <li>・送り仮名の原則と例外について理解している。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>・伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</li> <li>・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</li> <li>・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。</li> <li>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。</li> <li>・今までの学習を生かして、積極的に副詞、連体詞、接続詞、感動詞について理解しようとしている。</li> <li>・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。</li> <li>・今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。</li> <li>・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。</li> </ul>



国語科 年間指導計画・評価計画 第9学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
年間	漢字	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</li> </ul>
4月～ 5月	深まる学びへ 握手 価しながら聞く 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 論語評	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</li> <li>歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</li> <li>文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> </ul>	【書くこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</li> </ul> 【読むこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。</li> <li>文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。</li> <li>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> </ul> 【話すこと・聞くこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。</li> <li>粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。</li> <li>聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。</li> <li>人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。</li> <li>進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもつて情報を編集し文章にまとめようとしている。</li> </ul>
5月～ 6月	視野を広げて 作られた「物語」を超えて 説得力のある構成を考えよう 文法：助動詞 実用的な文章を読もう	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> <li>助動詞の働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。</li> <li>実用的な文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて理解する。</li> </ul>	【読むこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。</li> <li>文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。</li> </ul> 【話すこと・聞くこと】 <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。</li> <li>相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。</li> <li>助動詞の働きを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。</li> <li>実用的な文章を比較し、表現のしかたについて積極的に評価しようとしている。</li> </ul>

7月	言葉とともに 俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 和語・漢語・外来語	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。</li> <li>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</li> <li>表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成や表現のしかたについて評価している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。</li> <li>時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。</li> <li>進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。</li> </ul>
9月～ 10月	状況の中で 挨拶 故郷 慣用句・ことわざ・故事成語 質問で相手の思いに迫る	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</li> <li>語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。</li> <li>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul>	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詩の構成や表現のしかたについて評価している。</li> <li>詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> <li>文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</li> <li>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。</li> <li>粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。</li> <li>粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。</li> <li>積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。</li> </ul>
10月 ～11 月	自らの考えを 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 合意形成に向けて話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</li> <li>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</li> <li>表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</li> <li>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。</li> <li>粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見直しをもって批評文を書こうとしている。</li> <li>合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見直しをもって話し合おうとしている。</li> </ul>
11月 ～12 月	いにしへの心を受け継ぐ 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 おくのほそ道 文法：助詞 書写 学習したことを生かして書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</li> <li>長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなど使っている。</li> <li>単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞の働きについて理解している。</li> <li>課題に取り組み、3年間で学習したことを確かめている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和歌の表現のしかたについて評価している。</li> <li>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見直しをもって鑑賞文を書こうとしている。</li> <li>人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。</li> <li>単語の活用、助詞の働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組みようとしている。</li> <li>3年間で学習したことを振り返り、主体的に課題に取り組みようとしている。</li> </ul>



<p>1月～ 3月</p>	<p>価値を生み出す 誰かの代わりに グラフを基に小論文を書く 未来へ向かって 温かいスープ わたしを束ねないで 三年間の歩みを振り返ろう 書写 目的に応じて効果的に書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> <li>・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</li> <li>・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。</li> <li>・明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解した上で、目的に応じて効果的に文字を書いている。</li> </ul>	<p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</li> <li>・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</li> <li>・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</li> </ul> <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> </ul> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。</li> <li>・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。</li> <li>・詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。</li> <li>・粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。</li> <li>・ゴシック体・明朝体・手書き文字の特徴と、それぞれの文字から受ける印象について、主体的に話し合おうとしている。</li> </ul>
-------------------	--	--	--	--



社会 年間指導計画・評価計画 7年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	ガイダンス (1時間) [地理的分野] 第1部世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 (5時間)	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。	世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5月	[地理的分野] 第1部世界と日本の地域構成 第2章 日本の姿 (5時間) [歴史的分野] 第1章歴史への扉 1節歴史をとらえる見方・考え方 (3時間) 2節身近な地域の歴史 (5時間)	我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ・日本の歴史の大きな流れや各時代の特色に関する様々な資料を収集したり、適切に情報を読み取り、年表などにまとめたりしている。 ・年代の表し方や、時代区分の意味や意義について理解している。 ・身近な地域の歴史について適切に資料など情報を収集し、年表などにまとめている。	日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ・歴史的な見方・考え方「時期や年代」「推移」「現在のつながり」に着目して、小学校の学習で学習した人物や文化財、出来事などが時代区分とどのように関わるか考察し、表現している。 ・歴史的な見方・考え方「比較」「関連」や、時代的背景や地域の環境、歴史と私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現している。	日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ・身近な歴史や歴史上の人物、出来事などを調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対して見通しを持ち、課題の解決に向けて学習しようとしている。
6月	[歴史的分野] 第2章古代までの日本 1節世界の古代文明と宗教のおこり (6時間) [歴史的分野] 第2章古代までの日本 2節日本列島の誕生と大陸との交流 (4時間)	・古代文明の特徴を、生産技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などに着目して捉えている。 ・古代文明や宗教が生まれたことに加え、古代の人々の生活の変化を理解している。 ・小国のおこりから大和政権による統一までの過程を、文字資料、古墳の分布、鉄剣などの資料を通して理解している。 ・稲作が伝来した後の社会の仕組みや、人々の生活の変化を理解している。	・世界の古代文明や宗教が、日本の社会に与えた影響を考察し、表現している。 ・ギリシャ・ローマの政治制度について、現代との共通点や相違点に着目して考察し、表現している。 ・金印や文字資料などから、古代の日本と中国をはじめとする東アジア世界との関わりについて考察し表現している。	・古代文明や宗教のおこりなどに関する課題を意欲的に追究している。 ・最近のニュースなどで、遺物・遺跡などの考古学的な発見について関心を持っている。 ・日本列島において狩猟・採集から農耕へと変化した人々の生活に関する課題を意欲的に追究している。
7月	[歴史的分野] 第2章古代までの日本 3節古代国家の歩みと東アジア世界 (10時間)	・聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程など、国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを理解している。 ・大陸の文化を積極的に取り入れた文化が都を中心に栄え、その中から日本的な文化が成立したことを、具体的な事例を通して理解している。	・聖徳太子の政治から大化の改新を経て確立した律令国家の政治の特徴について考察し、表現している。 ・仏教の影響や文化を担った人々などに着目して、古代の日本において栄えた文化の特色について考察し表現している。	・天皇・貴族の政治の展開や、国際的な要素を持った文化が後に国風化したことに関心を持ち、それらに関する課題を意欲的に追究している。
9月	[地理的分野] 第2部世界のさまざまな地域 第1章人々の生活と環境 (9時間)	・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10月	[地理的分野] 第2部世界のさまざまな地域 第6節オセアニア州 (5時間)	自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べまとめている。	オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	[地理的分野] 第2部世界のさまざまな地域 第4節北アメリカ州 (7時間)	多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しまとめている。	北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。	世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。
11月	[地理的分野] 第2部世界のさまざまな地域 第2節ヨーロッパ州 (7時間)	ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関する課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心を持ち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。
12月	[歴史的分野] 第3章中世の日本 1節武士の政権と成立 (7時間)	・武士が台頭し武家政権が成立して、武士の支配が次第に全国に広まり、武家政権が発展していったことを理解している。 ・武士が台頭し、武家政権が成立したことと、鎌倉時代の武士や民衆の動き、鎌倉文化や鎌倉仏教に関する様々な資料を活用している。	・武士が台頭し武家政権が成立して、武士の支配が次第に全国に広まり、武家社会が発展したという時代の流れを、幕府と朝廷の関係、土地制度の変化などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ・鎌倉時代に新しい文化と仏教が生まれたことを、武士や民衆の動きと関連させて多面的・多角的に考察し、表現している。	・武士が台頭し武家政権が成立したことや、鎌倉時代の武士や民衆の動きに関する課題を意欲的に追究している。 ・鎌倉時代の新しい文化と仏教に対する関心を高め、現在との結び付きについて意欲的に追究している。
1月	[歴史的分野] 第3章中世の日本 2節ユーラシアの動きと 武士の政治の展開 (9時間)	・東アジア世界との交流を背景に、鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に関する様々な資料を活用している。 ・農業をはじめとする諸産業が発達し、都市や農村に自治的な仕組みが生まれたことや、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化が生まれたことを理解している。	・モンゴルの襲来や日明貿易など東アジア世界との交流が、日本の政治や社会、文化に及ぼした影響を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自治的な仕組みの発生、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化の誕生といった社会の変化を、農業をはじめとする諸産業の発達、政治の動きなどに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	・鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開、経済の発達と社会の変化、室町文化に関する課題を意欲的に追究している。 ・モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、東アジア世界での交流に関する課題を意欲的に追究している。
	[地理的分野] 第2部世界のさまざまな地域 第5節南アメリカ州 (6時間)	多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。	近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。	多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。
2月	[地理的分野] 第2部世界のさまざまな地域 第3節アフリカ州 (6時間)	アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。	一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追究し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。	モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
3月	[地理的分野] 第2部世界のさまざまな地域 第1節アジア州 (9時間)	アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。	他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現させる。	人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。

社会 年間指導計画・評価計画 8年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月・5月	[地理的分野] 第2部日本のさまざまな地域 第2章世界と比べた日本の地域的特色 (13時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地形や気候の特色。海洋に囲まれた日本の国土の特色。自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。</li> <li>少子高齢化の課題。国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。</li> <li>日本の資源・エネルギー利用の現状。国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。</li> <li>国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。</li> <li>「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。</li> <li>日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
5月	[歴史的分野] 第4章近世の日本 1節ヨーロッパ人との出会いと全国統一 (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ人來航の背景とその影響について理解している。</li> <li>織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係について理解している。</li> <li>武將や豪商などの生活文化の展開について理解している。</li> <li>ヨーロッパ人の來航とその背景。織田・豊臣による統一事業と当時の対外関係。武將や豪商などの生活文化の展開に関する図版、史料、年表、地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ人來航の背景とその影響から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>武將や豪商などの生活文化の展開から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ人來航の背景とその影響に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>武將や豪商などの生活文化の展開に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
6月	[歴史的分野] 第4章近世の日本 2節江戸幕府の成立と対外政策 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府の成立と大名統制について理解している。</li> <li>身分制と農村の様子について理解している。</li> <li>鎖国などの幕府の対外政策について理解している。</li> <li>鎖国下の対外関係について理解している。</li> <li>江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などに関する史料、年表などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府の成立と大名統制から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>身分制と農村の様子から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>鎖国などの幕府の対外政策から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>鎖国下の対外関係から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府の成立と大名統制に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>身分制と農村の様子に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>鎖国などの幕府の対外政策に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>鎖国下の対外関係に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
6月・7月	[歴史的分野] 第4章近世の日本 3節産業の発達と幕府政治の動き (7時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業や交通の発達について理解している。</li> <li>教育の普及と文化の広がりなどを身近な地域の歴史的事象に関連させて理解している。</li> <li>社会の変動や欧米諸国の接近について理解している。</li> <li>幕府の政治改革について理解している。</li> <li>新しい学問・思想の動きなどについて理解している。</li> <li>産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がり、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きに関する図版、グラフ、史料、年表、地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業や交通の発達から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>教育の普及と文化の広がりから課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>社会の変動や欧米諸国の接近から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>幕府の政治改革から課題を見だし、時代の特色と変化を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>新しい学問・思想の動きから課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業や交通の発達に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>教育の普及と文化の広がりに関する課題を、身近な地域の特色を生かした事例を取り上げ、主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>社会の変動や欧米諸国の接近に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>幕府の政治改革に関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>新しい学問・思想の動きに関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>



月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9月	[地理的分野] 第2部日本のさまざまな地域 第3章日本の諸地域 第1節九州地方(5時間)	地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業、自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や、人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解している。	自然環境に注目しながら、九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察している。	九州地方の自然環境と生活、産業との関係について関心をもち、九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。
	[地理的分野] 第2部日本のさまざまな地域 第3章日本の諸地域 第2節中国・四国地方(5時間)	地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。	他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察している。	中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心をもち、それを主体的に追究している。
10月	[地理的分野] 第2部日本のさまざまな地域 第3章日本の諸地域 第3節近畿地方(6時間)	地図や資料から、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿地方の地域的特色を理解している。	自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多面的・多角的に考察している。	自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心をもち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究している。
	[地理的分野] 第2部日本のさまざまな地域 第3章日本の諸地域 第4節中部地方(6時間)	①さまざまな資料を活用して、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。	中部地方の三つの地域において、さかんな産業に違いがある理由や、それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察している。	産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究している。
11月	[地理的分野] 第2部日本のさまざまな地域 第3章日本の諸地域 第5節関東地方(8時間)	関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。	関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追究しようとしている。
	[地理的分野] 第2部日本のさまざまな地域 第3章日本の諸地域 第6節東北地方(5時間)	地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。	東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察している。	東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもち主体的に追究している。
12月	[地理的分野] 第2部日本のさまざまな地域 第3章日本の諸地域 第7節北海道地方(5時間)	地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。	産業や開発の歴史に関する特色あることがらに注目して、自然環境や外国とのかかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察している。	自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心をもち、北海道地方の特色を主体的に追究している。
	[地理的分野] 第2部日本のさまざまな地域 第4章身近な地域の調査 (5時間)	・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。	地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
1月	[歴史的分野] 第5章開国と近代日本の歩み 1節欧米の進出と日本の開国 (8時間)	・産業革命について、資本主義社会が成立したことや、労働問題・社会問題が発生したことを理解している。 ・市民革命について、政治的な対立と社会の混乱、そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたことを理解している。 ・アジア諸国の動きについて、欧米諸国の進出に対するアジア諸国の対応と変容の観点から、中国などの動きを理解している。 ・欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ・開国の影響とその後の幕府政治の動向、人々の生活の変化を理解している。	・工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、課題を設定し、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響などを考察し、表現している。 ・欧米諸国のアジア進出の理由や背景などに着目し、開国の影響とその後の幕府政治の動向などを考察し、表現している。	・欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ・開国とその影響について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2月	[歴史的分野] 第5章開国と近代日本の歩み 2節明治維新(9時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富国強兵・殖産興業政策について、学制など今日につながる諸制度が定められたことや、「解放令」が出されたにも関わらず、現実には差別が続いたことを理解している。</li> <li>・文明開化の風潮について、欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを理解している。</li> <li>・明治維新について、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換の様子を理解している。</li> <li>・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定について、立憲制の国家が成立して、議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新政府の諸改革の特色などに着目して課題を設定し、日本が他のアジア諸国に先駆けて近代化が進んだ理由を考察し、表現している。</li> <li>・議会政治や外交の展開などに着目して課題を設定し、世界との関係や、現代の政治とのつながりなどを考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
3月	[歴史的分野] 第5章開国と近代日本の歩み 3節日清・日露戦争と近代産業 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日清・日露戦争について、大陸との関係、戦争に至るまでの我が国の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを理解している。</li> <li>・条約改正について、当時の国内の社会状況や国際情勢との関わりなどの背景、長年にわたる外交上の課題として取り組まれたことを理解している。</li> <li>・我が国の産業革命について、日清戦争前後から飛躍的に発展して資本主義経済の基礎が固まったこと、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことを理解している。</li> <li>・国民生活の変化について、鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化が見られたこと、その一方で労働問題や社会問題が発生したことを理解している。</li> <li>・学問・教育・科学・芸術などの発展について、学問や科学の分野で国際的な業績が生まれるなど、その進歩が著しかったことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日清・日露戦争における欧米諸国の利害関係や国内の様子に着目して課題を設定し、戦争の原因や影響などを考察し、表現している。</li> <li>・近代化がもたらした文化への影響などに着目して課題を設定し、産業の発展が国民の生活や文化に与えた影響などを考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

社会 年間指導計画・評価計画 9年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	[歴史的分野] 第5章開国と近代日本の歩み 4節日清・日露戦争と近代産業 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日清・日露戦争について、大陸との関係、戦争に至るまでの我が国の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを理解している。</li> <li>・条約改正について、当時の国内の社会状況や国際情勢との関わりなどの背景、長年にわたる外交上の課題として取り組まれたことを理解している。</li> <li>・我が国の産業革命について、日清戦争前後から飛躍的に発展して資本主義経済の基礎が固まったこと、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことを理解している。</li> <li>・国民生活の変化について、鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化が見られたこと、その一方で労働問題や社会問題が発生したことを理解している。</li> <li>・学問・教育・科学・芸術などの発展について、学問や科学の分野で国際的な業績が生まれるなど、その進歩が著しかったことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日清・日露戦争における欧米諸国の利害関係や国内の様子に着目して課題を設定し、戦争の原因や影響などを考察し、表現している。</li> <li>・近代化がもたらした文化への影響などに着目して課題を設定し、産業の発展が国民の生活や文化に与えた影響などを考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
	[歴史的分野] 第6章二度の世界大戦と日本 1節第一次世界大戦と日本 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第一次世界大戦中のヨーロッパ戦線」などを用いて、第一次世界大戦の広がりを読み取っている。</li> <li>・第一次世界大戦の概要を、原因・経過・結果から理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の背景を、帝国主義などの考えを基にして説明している。</li> <li>・第一次世界大戦後の国際情勢を、日本と世界の動きを関連させながら考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の原因や、現在まで続く民族問題に関心を持っている。</li> <li>・多くの民衆運動が起こった背景について、調べたり考えたりしている。</li> </ul>
5月	[歴史的分野] 第6章二度の世界大戦と日本 2節大正デモクラシーの時代 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大正時代の政治・経済・社会・文化のあらましを理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>・文化の大衆化と新しい生活と現代へのつながりについて、様々な資料から理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大正デモクラシーを現代の民主主義と比較して考え、自分の意見を述べている。</li> <li>・大正デモクラシーの特色を、政治・経済・社会・文化などから多面的・多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの民衆運動が起こった背景について、調べたり考えたりしている。</li> <li>・社会や人々の生活の変化に関心を持ち、課題を追究しようとしている。</li> </ul>
	[歴史的分野] 第6章二度の世界大戦と日本 3節世界恐慌と日本の中国侵略 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌からファシズムの台頭までの流れを理解している。</li> <li>・日本における政党政治の衰えと軍部の台頭までの流れを、理解している。</li> <li>・当時の日本の新聞などから、軍部の台頭を読み取っている。</li> <li>・「日中戦争の広がり」などを用いて、戦争の拡大を読み取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌の起こった原因を、資本主義経済の仕組みの中から考えている。</li> <li>・日本の軍国主義化について、現代的視点からの批判をしつつ、その原因や理由について考え、自分の意見を述べている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌について、原因や影響に関心を持ち、現代の経済状況などと比較するなど、意欲的に追究している。</li> <li>・日本の大陸進出などの課題について、自分たちと違う世代の意見に関心を持ち、聞く態度を身に付けている。</li> </ul>
5月・6月	[歴史的分野] 第6章二度の世界大戦と日本 4節第二次世界大戦と日本 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第二次世界大戦中のヨーロッパ戦線」「太平洋戦争」の資料を用いて、戦争の拡大の様子を読み取っている。</li> <li>・教科書の本文や資料などから、当時の日本の民衆の願いや思いを読み取っている。</li> <li>・第二次世界大戦の原因・経過・結果について、理解している。</li> <li>・太平洋戦争における戦時下の日本の民衆の生活について、理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシズムと反ファシズムの主張を調べ、自分の意見を述べている。</li> <li>・当時の日本の政府や軍部の主張などを批判的に読むなど、公正な立場で考え、自分の意見を述べている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユダヤ人迫害など、戦争の名の下に行われた行為について関心を持ち、平和を希求する態度を持っている。</li> <li>・戦争体験者から、被害と加害の実態を調べ、聞こうとする態度を身に付けている。</li> </ul>



月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6月	[歴史的分野] 第7章現代の日本と私たち 1節戦後日本の出発 (2時間)	占領下の日本で、様々な政策が行われ、民主的な新しい日本が建設されていったことを理解している。	新しい日本が民主的な国家を建設していった過程を、占領下の諸政策や国民の苦難と関連させながら、多面的・多角的に考察し、表現している。	国民たちが苦難を克服していきながら、どのように新しい日本を建設していったのかについて、振り返りを行いながら学習に取り組もうとしている。
	[歴史的分野] 第7章現代の日本と私たち 2節冷戦と日本の発展 (5時間)	・冷戦が加速し、東西の対立が深まった影響を受けて、反対意見もある中、日本が国際社会に復帰し、その後、外交関係を広げていったことを理解している。 ・特需をきっかけに経済成長を遂げ、国民生活が向上し、メディアを中心とした様々な文化が生まれたことを理解している。	日本がどのように国際社会に復帰し、経済成長を遂げていったのかを、国際社会の動きと関連付けながら考察し、表現している。	学習への見通しを持ちながら、どのように日本が成長していったのかを、振り返りを行いながら学習に取り組もうとしている。
6月・7月	[歴史的分野] 第7章現代の日本と私たち 3節新たな時代の日本と世界 (6時間)	・冷戦がどのように終結したのか、その後も多くの課題が残されている中で日本が期待されている役割を理解している。 ・国内外の動きや国際社会における日本の役割を理解し、その知識を身に付けている。	・冷戦後の日本の課題を、国際社会との関わりや、国境を越えて解決に取り組む人々に着目し、多面的・多角的に考察している。 ・現代の日本の特色を、近代と比較しながら多面的・多角的に考察し、表現している。	・持続可能な社会を創っていくにはどのような必要があるかを、これまでの歴史学習を振り返り、学習の見通しに生かしながら取り組んでいる。 ・これからの日本や世界を持続可能な社会とする意識を持って、課題の解決に取り組んでいこうとしている。
7月	[公民的分野] 第1章現代社会と私たち 1節現代社会の特色と私たち (5時間)	・現代社会の特色としてグローバル化、少子高齢化、情報化があることを理解し、その知識を身に付けている。 ・グローバル化、少子高齢化、情報化が、互いに関連し合いながら、政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付いている。 ・様々な写真や統計資料などから、現代社会の特色や社会の変容などを的確に読み取っている。	・グローバル化、少子高齢化、情報化が政治、経済、国際関係に影響を与えていることについて、様々な資料を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・グローバル化、少子高齢化、情報化などの現代社会の特色に関心を持ち、それらの影響や関連性などについて、意欲的に追究している。 ・持続可能な社会を形成するためには、一人一人の社会参画が重要であることに気付く、自分にできることを意欲的に考えている。
	[公民的分野] 第1章現代社会と私たち 2節私たちの生活と文化 (3時間)	・文化には科学・宗教・芸術などの様々な領域があることに気付く、それらが社会生活の様々な場面に影響を与えていることを理解している。 ・日本の伝統と文化の特色について、その歴史的背景や地域的多様性も含めて理解している。 ・地理的分野や歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本の伝統と文化の特色を示す資料を収集し、選択している。 ・複数の資料を比較し関連付けながら、現代社会における文化の意義や影響、日本の伝統と文化の特色、グローバル化、少子高齢化、情報化のもたらす文化への影響などについて、的確に読み取っている。	・日本の伝統文化や文化の多様性について、身近な生活や、地理的分野、歴史的分野の学習内容などを基に、多面的・多角的に考察している。 ・文化の継承と創造について、具体的な事例を通して自分の考えを形成するとともに、それを適切に表現している。	・日常生活に見られる文化について興味・関心を高め、意欲的に追究している。 ・日本の文化の多様性に気付く、それを尊重することの大切さに気付いている。 ・地域に見られる伝統文化の継承や、新しい文化の創造に、社会の形成者として、主体的に参加しようとしている。
9月	[公民的分野] 第1章現代社会と私たち 3節現代社会の見方や考え方 (5時間)	・人間が社会的存在であること、社会生活における物事の決定の仕方、決まりの意義と必要性、対立と合意、効率と公正の見方・考え方について、社会の形成者としての立場から理解し、その知識を身に付けている。 ・社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義に関する事例を収集し、現代社会を捉える見方・考え方を理解するために役立つ情報を適切に選択して読み取り、図表などにまとめている。	身近なトラブルの事例について、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を分かりやすく適切に表現している。	・自分が家族や地域社会をはじめとする社会集団の中で生活していることに気付く、社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9月	[公民的分野] 第2章個人の尊重と日本国憲法 1節人権と日本国憲法 (6時間)	・人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ日本国憲法が大切にされてきた理由について、多面的・多角的に考察、表現している。	現代社会に見られる課題の解決に向けて日本国憲法が大切にされてきた理由の考察に粘り強く取り組むことを通じて、主体的に社会に関わろうとしている。
10月	[公民的分野] 第2章個人の尊重と日本国憲法 2節人権と共生社会 (6時間)	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。	現代社会に見られる課題の解決に向けて人権保障が大切にされている理由の考察に粘り強く取り組むことを通じて、主体的に社会に関わろうとしている。
	[公民的分野] 第2章個人の尊重と日本国憲法 3節これからの人権保障 (4時間)	社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。	現代社会に見られる課題の解決に向けて、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由を、粘り強く考察することを通して、主体的に社会に関わろうとしている。
10月・11月	[公民的分野] 第3章現代の民主政治と社会 1節現代の民主政治(7時間)	・政治や議会制民主主義、政党政治の考え方や意義について理解している。 ・多数決の原理とその運用の在り方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、その知識を身に付けている。 ・最近の選挙に関する話題や各政党の政権公約などについて、新聞やインターネットなどを活用して資料を収集・選択し、複数の資料を比較したり、課題に即して読み取ったり、適切にまとめたりしている。 ・マスメディアの世論形成への影響力とメディアリテラシーの重要性について理解し、新聞記事などのマスメディアの情報を読み取る際に、複数の情報を比較するなど、様々な角度から批判的に読み取っている。	・議会制民主主義や多数決の原理について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気付き、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合いなどを通して多面的・多角的に考察し、自分の考えを分かりやすく表現している。	・身近な生活と政治との関わりに関心を持ち、政党の役割や選挙の仕組み、現代日本の民主政治の課題について意欲的に追究している。 ・みんなで話し合い、決定するという民主主義の基本的な考えに立ち、積極的に話し合いに参加している。
11月	[公民的分野] 第3章現代の民主政治と社会 2節国の政治の仕組み (10時間)	・国会・内閣・裁判所の仕組みと働き、議院内閣制を中心とする三権分立の仕組みとその意義について理解し、その知識を身に付けている。 ・司法権の独立と法に基づく裁判が憲法で保障されていることの意義を理解し、その知識を身に付けている。 ・国会や内閣の仕事について、様々な資料を収集して必要な情報を選択し、読み取った内容を図表などに分かりやすくまとめている。 ・裁判における国民の権利や、日本の司法の課題について、法令や判例、新聞記事などから的確に読み取っている。	・国の政治に関する様々な話題や事例から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・模擬裁判などの活動を通して、裁判の役割と国民の司法参加の意義について考えるとともに、自分の考えをまとめて論述したり、議論を通して考えを深めたりしている。	・国の政治に関心を持ち、見学や調査、話し合いなどの活動に積極的に取り組んでいる。 ・裁判員制度をはじめとする司法制度改革について関心を持ち、意欲的に追究している。
12月	[公民的分野] 第3章現代の民主政治と社会 3節地方自治と私たち (6時間)	・地方自治の考え方と仕組み、地方財政の仕組みや課題について理解し、その知識を身に付けている。 ・住民自治を基本とする地方自治の考え方に基いて、住民の権利や役割に気付き、その内容を理解している。 ・地域の課題や地方財政の変化について、資料を収集・選択し、複数の資料を比較して読み取ったり、その結果を図表などにまとめたりしている。 ・地域のまちづくりについて、「私たちの政治参加」の手法や、地理的分野や歴史的分野での調査学習で習得した手法を参考に、適切な手段を選択して調査・分析し、考えたことや提言を分かりやすく表現している。	・住民自治や地方分権の考え方について、既習事項を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・自分たちが住む地域の特色や課題について調べ、解決のための方法について話し合い、自分の考えをレポートや討論での発言、提言などの形で表現している。	・身近な地方公共団体の政治について意欲的に調べたり、地域住民の一人としてその在り方について考えたりしている。 ・自分たちが住む地域の政治に関心を持ち、自分たちにできることを意欲的に考え、提案したり、政治参加の方法について考えたりしている。

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
12月	[公民的分野] 第4章私たちの暮らしと経済 1節消費生活と市場経済 (6時間)	事例や統計資料などを収集・選択し、読み取る学習を通して、身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、消費生活や流通に関する様々な事例を基に、個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	身近な事例の提示や、シミュレーションなどの活動を通して、市場の働きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。
12月・1月	[公民的分野] 第4章私たちの暮らしと経済 2節生産と労働(5時間)	現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の問題について理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	市場の働きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。
1月	[公民的分野] 第4章私たちの暮らしと経済 3節市場経済の仕組みと金融 (6時間)	・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。 ・現代の金融などの仕組みや働きを理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	市場の働きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。
	[公民的分野] 第4章私たちの暮らしと経済 4節財政と国民の福祉 (4時間)	・社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。
	[公民的分野] 第4章私たちの暮らしと経済 5節これからの経済と社会 (3時間)	公害の防止など環境の保全について、その意義を理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。
2月	[公民的分野] 第5章地球社会と私たち 1節国際社会の仕組み (6時間)	・国際社会は、国家間の対等な関係の上に成り立っており、協力し合うことが必要であることを理解し、その知識を身に付けている。 ・国際連合をはじめとする国際機構が果たしている役割を理解し、その知識を身に付けている。 ・国際連合をはじめとする国際機構に関する複数の資料を比較して読み取ったり、考察したことを分かりやすく発表したりしている。	・国際連合について、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・地域主義や経済のグローバル化に関する複数の資料を比較したり関連付けたりしながら、国際社会の現状や国際関係の変化について多面的・多角的に考察している。	・主権国家や国際連合、地域主義など、国際社会の様々な主体について関心を持ち、それらが果たす役割や意義について考えている。
	[公民的分野] 第5章地球社会と私たち 2節さまざまな国際問題 (5時間)	・国際社会の諸課題のあらましと解決に向けての取り組みについて理解するとともに、解決のためには経済的・技術的な協力が大切であることに気づき、その知識を身に付けている。 ・国際社会の諸課題について、写真や統計資料を基に的確に読み取ったり、複数の資料を関連付けて課題どうしの関係を捉えたり、その解決のための方法について図表などにまとめたりしている。	・地球環境の保全や日本のエネルギーの在り方、貧困の解消などについて、対立と合意、効率と公正、持続可能な社会などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察し、発表や討論などを通して、自分の考えを適切に表現している。 ・貧困問題や地域紛争、難民問題などの原因を考え、その解決のための方法を、具体的な事例を参考にしながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・国際社会の諸課題(地球環境、資源・エネルギー、難民、貧困、紛争など)について関心を持ち、日本の果たすべき役割や個人としての関わり方について、意欲的に考えている。

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3月	<p>【公民的分野】 第5章地球社会と私たち 3節これからの地球社会と日本 (3時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が平和主義と国際貢献を外交の柱としていることを理解するとともに、日本が世界の諸地域と様々な面でつながり、国際社会の諸課題の解決のために活動していることを理解している。</li> <li>・核兵器の廃絶が世界の平和を実現するうえで重要な人類的課題になっていることを理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>・地図や統計資料などを基に、現在行われている国際協力の実態と課題について読み取り、考えたことを図表や文章などにまとめている。</li> </ul>	<p>世界平和を実現するために日本の採るべき立場について、複数の具体的な事例を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界平和と国際協力の実現について関心を持ち、意欲的に追究している。</li> <li>・世界の異なる文化や宗教を尊重し、世界平和を実現しようとする熱意と協力の態度が見られる。</li> </ul>
	<p>【公民的分野】 終章 より良い社会を目指して (4時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を形成するために解決すべき社会の課題として、環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術などがあることを理解し、それらの知識を身に付けている。</li> <li>・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題とその解決策について、これまでの社会科で学習した知識と関連付けて理解している。</li> <li>・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題を探究するにあたって、様々な資料を適切に収集・選択し、活用している。</li> <li>・レポートを作成するにあたって、「探究課題の設定→資料の収集・中間発表・議論→レポートの作成・完成」という科学的な探究の過程をたどっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題について、地理的分野や歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し、その結果をレポートに表現している。</li> <li>・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題の解決について、社会参画の観点で捉えるとともに、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて考察している。</li> <li>・身近な地域の生活や日本の取り組みとの関連性に着目し、地域的な視野と世界的な視点に立って探究を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心を持ち、その解決策を意欲的に探究している。</li> <li>・より良い社会を築くために自分に何ができるか考え、社会参画しようとする態度が見られる。</li> </ul>



数学科 年間指導計画・評価計画 第7学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	正負の数(27時間) ・ 整数の性質 ・ 正負の数 ・ 四則演算 ・ 正負の数の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正負の数の必要性と意味を具体的な場面と結びつけて理解している。</li> <li>・ 正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。</li> <li>・ 正負の数の四則計算をすることができる。</li> <li>・ 具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>・ 数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。</li> <li>・ 正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正負の数の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>・ 正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
6 7	文字と式(20時間) ・ 文字を使った式 ・ 文字式の計算 ・ 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字を用いることの必要性と意味を理解している。</li> <li>・ 文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。</li> <li>・ 文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。</li> <li>・ 簡単な1次式の計算をすることができる。</li> <li>・ 数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。</li> <li>・ 数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、読み取ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>・ 文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字を用いることの必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>・ 文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
9 10	方程式(18時間) ・ 方程式とその解き方 ・ 1次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方程式の必要性と意味を理解している。</li> <li>・ 方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。</li> <li>・ 等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。</li> <li>・ 移項の考えを用いて方程式を解くことができる。</li> <li>・ 簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。</li> <li>・ 事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。</li> <li>・ 1次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの、解の吟味の意味と必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>・ 方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。</li> <li>・ 具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。</li> <li>・ 具体的な場面の問題において、解を吟味して解答としてよいことを判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方程式の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>・ 正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。</li> <li>・ 方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>

10 11	比例と反比例(24 時間) ・ 関数と比例・反比例 ・ 比例の性質と調べ方 ・ 反比例の性質と調べ方 ・ 比例と反比例の利用	・ 関数関係の意味を理解している。 ・ 比例, 反比例について理解している。 ・ 比例, 反比例を表, 式, グラフなどに表すことができる。	・ 比例, 反比例として捉えられる 2 つの数量について, 表, 式, グラフなどを用いて調べ, それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ・ 比例, 反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・ 関数関係の意味や比例, 反比例について考えようとしている。 ・ 比例, 反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ 比例, 反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
11 12	平面図形(19 時間) ・ 図形の移動 ・ 基本の作図 ・ おうぎ形	・ 平行移動, 対称移動及び回転移動について理解している。 ・ 平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 ・ 角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ・ おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	・ 図形の移動に着目し, 2 つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。 ・ 線対称な図形の性質をもとにして, 基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 ・ 図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。	・ 平面図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。 ・ 平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ 図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
1 2	空間図形(20 時間) ・ いろいろな立体 ・ 立体の見方と調べ方 ・ 立体の体積と表面積	・ 空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・ 立体図形の展開図や投影図について理解している。 ・ 柱体や錐体, 球の表面積と体積を求めることができる。	・ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。 ・ 空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。 ・ 立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。	・ 空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。 ・ 空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
2 3	データの分析と活用(12 時間) ・ データの整理と分析 ・ データの活用 ・ ことがらの起こりやすさ	・ ヒストグラムや相対度数などの必要性や意味を理解している。 ・ 累積度数, 累積相対度数の必要性や意味を理解している。 ・ 代表値や範囲の必要性や意味を理解している。 ・ コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ・ 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性や意味を理解している。	・ 目的に応じてデータを収集して分析し, そのデータの分布の傾向を読み取り, 批判的に考察し判断することができる。 ・ 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして, 不確実な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	・ ヒストグラムや相対度数の必要性や意味を考えようとしている。 ・ ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり, 多面的に捉え考えようとしていたりしている。 ・ 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性や意味を考えようとしている。 ・ 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

数学科 年間指導計画・評価計画 第8学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5	式の計算(15時間) ・ 式の計算 ・ 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。</li> <li>・ 具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。</li> <li>・ 文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。</li> <li>・ 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>・ 文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>・ 文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
6 7	連立方程式(15時間) ・ 連立方程式とその解き方 ・ 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2元1次方程式とその解の意味を理解している。</li> <li>・ 連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。</li> <li>・ 簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>・ 連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>・ 連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
7 9 10	1次関数(20時間) ・ 1次関数 ・ 1次関数の性質と調べ方 ・ 2元1次方程式と1次関数 ・ 1次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次関数について理解している。</li> <li>・ 事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。</li> <li>・ 2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。</li> <li>・ 1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。</li> <li>・ 1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> <li>・ 1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次関数の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>・ 1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
10 11	平行と合同(18時間) ・ 説明の仕組み ・ 平行線と角	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多角形の角についての性質を見いだせることを知っている。</li> <li>・ 平行線や角の性質を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同な図形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。</li> <li>証明の必要性と意味及びその方法について理解している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
11 12 1	三角形と四角形(22 時間) <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形</li> <li>平行四辺形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>証明の必要性と意味及びその方法について理解している。</li> <li>定義やことがらの仮定と結論、逆の意味を理解している。</li> <li>反例の意味を理解している。</li> <li>正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</li> <li>証明を読んで新たな性質を見だし、表現することができる。</li> <li>三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。</li> <li>ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。</li> <li>平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
1 2	確率(10 時間) <ul style="list-style-type: none"> <li>確率</li> <li>確率による説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。</li> <li>簡単な場合について確率を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。</li> <li>確率を用いて不確実な事象を捉え、考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>不確実な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
2 3	データの比較(5 時間) <ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲と箱ひげ図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。</li> <li>コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>



数学科 年間指導計画・評価計画 第9学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5	多項式(20時間) ・多項式の計算 ・因数分解 ・式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。</li> <li>・簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。</li> <li>・文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。</li> <li>・式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
6 7	平方根(19時間) ・平方根 ・根号をふくむ式の計算 ・平方根の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の平方根の必要性と意味を理解している。</li> <li>・有理数、無理数の意味を理解している。</li> <li>・数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。</li> <li>・具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学んだ文字式の計算などと関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の平方根の必要性や意味を考えようとしている。</li> <li>・数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
7 9	2次方程式(17時間) ・2次方程式とその解き方 ・2次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。</li> <li>・平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。</li> <li>・解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。</li> <li>・因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。</li> <li>・事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくるすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>・具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次方程式の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>・2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
10 11	関数 $y=ax^2$ (20時間) ・関数 $y=ax^2$ ・ $y=ax^2$ の性質と調べ方 ・いろいろな関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数 <math>y=ax^2</math> について理解している。</li> <li>・事象の中には関数 <math>y=ax^2</math> として捉えられるものがあることを知っている。</li> <li>・関数 <math>y=ax^2</math> を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数 <math>y=ax^2</math> として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数 <math>y=ax^2</math> の必要性と意味を考えようとしている。</li> <li>・関数 <math>y=ax^2</math> について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数 <math>y=ax^2</math> を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数 <math>y=ax^2</math> を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
11 12	相似な図形(25 時間) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相似な図形</li> <li>・ 平行線と比</li> <li>・ 相似な図形の面積と体積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。</li> <li>・ 相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。</li> <li>・ 基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。</li> <li>・ 誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を <math>a \times 10^n</math> の形に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</li> <li>・ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。</li> <li>・ 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。</li> <li>・ 図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
1	円(13 時間) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円周角の定理</li> <li>・ 円周角の定理の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</li> <li>・ 円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円周角と中心角の関係を見いだすことができる。</li> <li>・ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。</li> <li>・ 円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
2	三平方の定理(18 時間) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三平方の定理</li> <li>・ 三平方の定理の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</li> <li>・ 三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。</li> <li>・ 三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三平方の定理を見いだすことができる。</li> <li>・ 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三平方の定理を見いだそうとしている。</li> <li>・ 三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
3	標本調査(8 時間) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標本調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標本調査の必要性和意味を理解している。</li> <li>・ コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。</li> <li>・ 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標本調査の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>・ 標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・ 標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>

月	単元名・学習内容(時間数)	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	いろいろな生物とその共通点(26) 第1章 生物の観察と分類のしかた(6) 第2章 植物の分類(10) 第3章 動物の分類(10)	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかた、植物のからだの共通点と相違点や動物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の観察と分類のしかたや生物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物の観察と分類のしかたや動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
7 9 10	身のまわりの物質(27) 第1章 身のまわりの物質とその性質(8) 第2章 気体の性質(5) 第3章 水溶液の性質(7) 第4章 物質の姿と状態変化(7)	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質、気体の発生とその性質、水溶液、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質のすがた、水溶液、状態変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
11 12	身のまわりの現象(26) 第1章 光の世界(11) 第2章 音の世界(5) 第3章 力の世界(10)	光、音、力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらき、音の性質、力のはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	光、音、力のはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらき、音の性質、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	光、音、力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
1 2 3	大地の変化(26) 第1章 火をふく大地(8) 第2章 動き続ける大地(6) 第3章 地層から読みとる大地の変化(12)	大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震や自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震や自然の恵みと火山災害・地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震や自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	化学変化と原子・分子(34) 第1章 物質のなり立ち(8) 第2章 物質どうしの化学変化(7) 第3章 酸素がかかわる化学変化(7) 第4章 化学変化と物質の質量(7) 第5章 化学変化とその利用(5)	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解、原子・分子、化学変化、化学変化における酸化と還元、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質のなり立ち、化学変化、化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質のなり立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
7 9 10	生物のからだのつくりとはたらき(37) 第1章 生物と細胞(9) 第2章 植物のからだのつくりとはたらき(10) 第3章 動物のからだのつくりとはたらき(13) 第4章 刺激と反応(6)	生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の葉・茎・根のつくりとはたらき、動物が生命を維持するはたらき、動物の刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と細胞、植物のからだのつくりとはたらき、動物が生命を維持するはたらき、動物の刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物と細胞、植物のからだのつくりとはたらき、動物が生命を維持するはたらき、動物の刺激と反応に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
10 11 12	天気とその変化(33) 第1章 気象の観測(15) 第2章 雲のでき方と前線(7) 第3章 大気の動きと日本の天気(11)	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害などについての基本的な概念や原理・などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化、日本の気象についての規則性や関係性、天気の変化や日本の気象との関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
12 1 2 3	電気の世界(36) 第1章 静電気と電流(7) 第2章 電流の性質(15) 第3章 電流と磁界(14)	静電気と電流、電流、電流と磁界に関する事象・現象に関する事象・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の性質、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギー、磁界と磁力線との関係、電流の磁気についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	静電気と電流、電流に関する現象、電流と磁力線との関係、電流の磁気作用、電流と磁界の関係性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験、解決する方法を立案して実験などを行い、その結果を分析して解釈し、静電気と電流の性質や規則性、電流のはたらきを理解して、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	静電気と電流、電流、電流と磁界に関する事象・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	化学変化とイオン(28) 第1章 水溶液とイオン(8) 第2章 酸、アルカリとイオン(9) 第3章 化学変化と電池(11)	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子のなり立ちとイオン、酸・アルカリ、中和と塩、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液とイオン、金属イオン、化学変化と電池について、見通しをもって観察・実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	水溶液とイオン、金属イオン、化学変化と電池に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
6 7 9	生命の連続性(26) 第1章 生物の成長と生殖(10) 第2章 遺伝の規則性と遺伝子(9) 第3章 生物の多様性と進化(7)	生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
10 11	運動とエネルギー(31) 第1章 物体の運動(10) 第2章 力のはたらき方(8) 第3章 エネルギーと仕事(13)	力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動、水中の物体にはたらく力、力の合成・分解、力と運動、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合いと合成・分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	力学的エネルギー、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
12 1	地球と宇宙(26) プロローグ 星空をながめよう(2) 第1章 地球の運動と天体の動き(10) 第2章 月と金星の見え方(7) 第3章 宇宙の広がり(7)	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようす、日周運動と自転、年周運動と公転、月や金星の運動と見え方、惑星と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	月や太陽、恒星、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星、天体の動きと地球の自転・公転、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	太陽系と恒星、天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2 3	地球と私たちの生活のために(29) 第1章 自然のなかの生物(6) 第2章 自然環境の調査と保全(6) 第3章 科学技術と人間(7) 第4章 地域とつながる(4) 終章 持続可能な社会をつくるために(6)	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合い、自然環境の調査と環境保全、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的とり組みから、持続可能な社会に向けた行動判断のもとになる科学的調査(文献調査もふくむ)の技能を身につけている。	生物と環境、日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、身近な自然環境、地域の自然災害などを調べる観察、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境保全のあり方、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。資源・環境の持続性について問題を見だし、身のまわりの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して持続可能な社会に向けての行動を判断している。	生物と環境に関する事物・現象、エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用、地域の自然災害に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。これまでの理科学習についてふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、これを実施している。



## 英語科 年間指導計画・評価計画 第7学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	全学年・全単元共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解している。</li> <li>・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面，状況を設定した言語運用課題を通して，日常的・社会的な話題や内容について理解し，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
4月	<b>Starter 1</b> 英語の文字と音 <b>Starter 2</b> コミュニケーションを楽しもう(1) <b>Starter 3</b> コミュニケーションを楽しもう(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットや簡単な語，月・日・曜日・教科・習いごと，1日の生活や町の施設や建物について，聞いたり話したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットや簡単な語，月・日・曜日・教科・習いごと，1日の生活や町の施設や建物について理解し，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に簡単な語，月・日・曜日・教科・習いごと，1日の生活や町の施設や建物の表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
4月 ～ 5月	<b>Lesson 1 About Me</b> ●新しい友だちや先生との中学校生活 ▲学校，生活，自己紹介 ◇発表する，あいづちを打つ，質問する，説明する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・be動詞（am, are），一般動詞（1・2人称）を理解できる。</li> <li>・好きなことや趣味などについて，聞いたり，読んだり，話したり，書いたりして，お互いのことを知ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・be動詞（am, are），一般動詞（1・2人称），好きなことや趣味について理解し，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に be動詞（am, are），一般動詞（1・2人称）を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>



6月	<b>Lesson 2 English Camp</b> ●国際交流イベント, 地域の行事 ▲地域, 生活 ◇質問する, 説明する	・助動詞 can を理解できる。 ・できることなどについて, 聞いたり, 読んだり, 話したり, 書いたりして, お互いの理解を深めることができる。	・助動詞 can, できることなどについて理解し, これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・主体的に助動詞 can を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
6月 ～ 7月	<b>Lesson 3 Our New Friend</b> ●インドからの転校生, 異文化 ▲学校, 活動 ◇報告する, 質問する, 説明する, 描写する, 礼を言う	・be 動詞 (is), what / who, him / her を理解できる。 ・町にあるものなどについて, 聞いたり, 読んだり, 話したり, 書いたりして, 新しい友だちと仲良くなることことができる。	・be 動詞 (is), what / who, him / her, 町にあるものなどについて理解し, これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・主体的に be 動詞 (is), what / who, him / her を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
9月	<b>Project 1</b> 理想のロボットを発表しよう	・理想のロボットができることなどを考え, 自分の考えたロボットができることやロボットの特徴についての原稿を書いて発表することができる。	・事実や自分の考えを整理し, 簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。	・事実や自分の考えを整理し, 簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。
9月 ～ 10月	<b>Lesson 4 My Family, My Hometown</b> ●イギリス, 家族, ホームタウン ▲学校, 生活 ◇説明する, 質問する, 描写する, 意見を言う	・3人称単数現在形を理解できる。 ・説明文の概要をとらえることができる。 ・申込書を正確に書くことができる。 ・即興でスピーチ発表をすることができる。	・3人称単数現在形について理解し, これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・主体的に3人称単数現在形を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
10月 ～ 11月	<b>Lesson 5 School Life in the U.S.A.</b> ●アメリカの中学校と中学生の生活 ▲学校, 生活, 電子メール ◇描写する, 質問する, 説明する, 依頼する	・現在進行形を理解できる。 ・説明文の概要をとらえることができる。 ・まとまりのあるメールの文章を書くことができる。	・現在進行形について理解し, これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・主体的に現在進行形を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
11月 ～ 12月	<b>Lesson 6 Discover Japan</b> ●日本の伝統文化, 旅行 ▲学校, 生活, 旅行	・一般動詞の過去形を理解できる。 ・物語文の概要をとらえることができる。	・一般動詞の過去形について理解し, これらを活用して表現し	・主体的に一般動詞の過去形を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。



	◇説明する, 質問する, 礼を言う, 意見を言う	・まとまりのある文章を書くことができ、絵日記を作ることができる。	たり伝え合ったりすることができる。	
12月	<b>Project 2</b> 英語のタウンガイドを作ろう	・自分たちの町の魅力を発信するために、おすすめの場所について事実や自分の考えを整理し、既習の表現、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。	・おすすめの場所について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	・おすすめの場所について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。
1月	<b>Lesson 7 Wheelchair Basketball</b> ●車いすバスケットボール ▲地域, 行事, 電話 ◇報告する, 意見を言う, 謝る, 質問する, 説明する	・be 動詞の過去形, 過去進行形を理解できる。 ・物語文の概要をとらえることができる。 ・スピーチでまとまりのある内容を発表することができる。	・be 動詞の過去形, 過去進行形について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・主体的に be 動詞の過去形, 過去進行形を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
2月	<b>Lesson 8 Green Festival</b> ●自然, 環境保護 ▲地域, 行事 ◇説明する, 命令する, 誘う, 質問する, あいづちを打つ, 報告する	・未来を表す表現 (will, be going to ...) を理解できる。 ・説明文の概要をとらえることができる。 ・まとまりのあるマニフェストの文章を書くことができる。	・未来を表す表現 (will, be going to ...) について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・主体的に未来を表す表現 (will, be going to ...) を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
3月	<b>Project 3</b> 大切なものを紹介しよう	・プレゼンテーションコンテストに参加するために、自分の大切にしているものについて、事実や自分の気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	・自分の大切にしているものについて、事実や自分の気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	・自分の大切にしているものについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
3月	<b>Reading for Fun</b> Alice and Humpty Dumpty	・物語のおおまかな流れなどを理解するために、不思議の国でのアリスの冒険について書かれた物語を読んで、概要を捉えることができる。	・物語を読んで、概要を捉えている。	・物語を読んで、概要を捉えようとしている。

## 英語科 年間指導計画・評価計画 第8学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	全学年・全単元共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解している。</li> <li>・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面，状況を設定した言語運用課題を通して，日常的・社会的な話題や内容について理解し，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
4月	<b>Starter</b> This Month's Books	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラウン先生がおすすめる英語の本の紹介記事を要約するために，<i>Peter Rabbit</i>と<i>Sherlock Holmes</i>のあらすじと作者について書かれた記事を読んで，概要を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の本の紹介記事を要約するために，記事を読んで，概要を捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の本の紹介記事を要約するために，記事を読んで，概要を捉えようとしている。</li> </ul>
4月 ～ 5月	<b>Lesson 1 Peter Rabbit</b> ●イギリス文学，ピーターラビット ▲学校，生活 ◇説明する，あいづちを打つ，褒める，質問する，仮定する，礼を言う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続詞（when, if, that）を理解できる。</li> <li>・物語文の概要をとらえることができる。</li> <li>・気持ちなどを込めて，物語文を朗読することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続詞（when, if, that）について理解し，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に接続詞（when, if, that）を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
5月 ～ 6月	<b>Lesson 2 My Dream</b> ●自分の将来像，将来の夢 ▲学校，活動 ◇説明する，繰り返す，質問する，あいづちを打つ，褒める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・to不定詞を理解できる。</li> <li>・意見文の要点をとらえることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・to不定詞について理解し，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的にto不定詞を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

6月	<b>Project 1</b> 将来の夢を紹介しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチコンテストに参加するために、将来の夢やしてみたいことについて、気持ちや考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢について、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢について、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</li> </ul>
6月 ～ 7月	<b>Lesson 3 Every Drop Counts</b> ●自然科学, 社会貢献活動 ▲学校, 行事 ◇話しかける, 説明する, 質問する, あいづちを打つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ There is [are] ....や動名詞を理解できる。</li> <li>・ 説明文の概要をとらえることができる。</li> <li>・ 話し合いの場面で、即興で伝え合うことができる。</li> <li>・ 即興でスピーチの発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ There is [are] ....や動名詞について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に There is [are] ....や動名詞を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
9月 ～ 10月	<b>Lesson 4 Uluru</b> ●オーストラリア, 地域の文化 ▲学校, 生活 ◇質問する, 説明する, あいづちを打つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動詞 (give, call など) + A + B を理解できる。</li> <li>・ 意見文の要点をとらえることができる。</li> <li>・ まとまりのあるエッセイの文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動詞 (give, call など) + A + B について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に動詞 (give, call など) + A + B を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
10月	<b>Reading for Fun 1</b> A Pot of Poison	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語のおおまかな流れなどを理解するために、狂言の『附子』を原作にした3人の小僧と和尚のつぼについて書かれた物語を読んで、概要を捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語のおおまかな流れなどを理解するために、物語を読んで、概要を捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語のおおまかな流れなどを理解するために、物語を読んで、概要を捉えようとしている。</li> </ul>
10月 ～ 11月	<b>Lesson 5 Things to Do in Japan</b> ●旅行・観光, 異文化体験 ▲学校, 行事 ◇説明する, あいづちを打つ, 質問する, 意見を言う, 誘う, 報告する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形容詞や副詞の比較級, 最上級を理解できる。</li> <li>・ 説明文の要点をとらえることができる。</li> <li>・ レポートでまとまりのある文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形容詞や副詞の比較級, 最上級について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に形容詞や副詞の比較級, 最上級を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
11月	<b>Project 2</b> 修学旅行のプランを提案しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外の3つの姉妹校の修学旅行先を提案するために、姉妹校の生徒が日本でしたいことについてのアンケート結果を読んで、それぞれ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート結果を読んだりして、おすすめの行き先の情報や自分の考えを、簡単な語句や文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート結果を読んだりして、おすすめの行き先の情報や自分の考えを、簡単な語句や文</li> </ul>

		れの学校に合った、おすすめの行き先の情報や自分の考えを提案することができる。	を用いてまとまりのある文章を書いている。	を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。
12月	<b>Lesson 6 Tea from China</b> ●中国、お茶の文化と歴史 ▲社会、生活 ◇説明する、描写する、質問する、あいづちを打つ、褒める	・現在完了形（継続）を理解できる。 ・説明文の概要をとらえることができる。 ・まとまりのある文章を書くことができる。	・現在完了形（継続）について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・主体的に現在完了形（継続）を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
1月 ～ 2月	<b>Lesson 7 Rakugo Goes Overseas</b> ●日本の伝統文化、英語落語 ▲社会、生活 ◇話しかける、説明する、質問する、あいづちを打つ、誘う、意見を言う	・現在完了形（完了・経験）を理解できる。 ・意見文の要点をとらえることができる。 ・インタビューの場面で、即興で伝え合うことができる。 ・ポスターを正確に書くことができる。	・現在完了形（完了・経験）について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・主体的に現在完了形（完了・経験）を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
2月	<b>Project 3</b> ディスカッションをしよう	・地域で行われるイベント「わかばフェスティバル」のテーマを決めるために、わかば市のウェブサイトに掲載された市民の意見を聞いたり読んだりして、テーマの案やその理由を、簡単な語句や文を用いて述べ、話し合う。	・市民の意見を聞いたり読んだりして、テーマの案やその理由を、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。	・市民の意見を聞いたり読んだりして、テーマの案やその理由を、簡単な語句や文を用いて述べ合おうとしている。
3月	<b>Reading for Fun 2</b> The Little Prince	・物語のおおまかな流れなどを理解するために、星の王子さまの旅について書かれた物語『星の王子さま』を読んで、概要を捉える。	・物語のおおまかな流れなどを理解するために、物語を読んで、概要を捉えている。	・物語のおおまかな流れなどを理解するために、物語を読んで、概要を捉えようとしている。

## 英語科 年間指導計画・評価計画 第9学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	全学年・全単元共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解している。</li> <li>・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面，状況を設定した言語運用課題を通して，日常的・社会的な話題や内容について理解し，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
4月	<b>Starter</b> Best Music of All Time 説明文を読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカの音楽雑誌の記事を要約するために，2つの曲（“Stand by Me”と“True Colors”）について書かれた記事を読んで，概要を捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記事を要約するために，曲を紹介する記事を読んで，概要を捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記事を要約するために，曲を紹介する記事を読んで，概要を捉えようとしている。</li> </ul>
4月 ～ 5月	<b>Lesson 1 Stand by Me</b> ●音楽の持つ力 ▲学校，活動 ◇質問する，説明する，あいづちを打つ，褒める，意見を言う，描写する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了進行形が理解できる。</li> <li>・意見文の要点をとらえることができる。</li> <li>・まとまりのある内容をスピーチで話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了進行形について理解し，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に現在完了進行形を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
5月 ～ 6月	<b>Lesson 2 Languages in India</b> ●インドの言語と文化 ▲家庭，生活 ◇発表する，招待する，約束する，質問する，説明する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身形が理解できる。</li> <li>・説明文の概要をとらえることができる。</li> <li>・まとまりのあるメッセージの文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身形について理解し，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に受け身形を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

6月	<b>Project 1</b> 日本限定アイスクリームを提案しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本限定アイスクリームを提案するために、アイスクリームの特徴やおすすめのポイントについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特徴やおすすめのポイントについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて話し提案している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特徴やおすすめのポイントについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて話し提案しようとしている。</li> </ul>
6月 ～ 7月	<b>Lesson 3 The Story of Sadako</b> ●広島原爆、平和 ▲学校、行事 ◇説明する、描写する、報告する、賛成する、意見を言う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後置修飾（動詞の-ing形／過去分詞）が理解できる。</li> <li>・物語文の概要をとらえることができる。</li> <li>・まとまりのあるメッセージの文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後置修飾（動詞の-ing形／過去分詞）について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に後置修飾（動詞の-ing形／過去分詞）を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
9月	<b>Lesson 4 The World's Manga and Anime</b> ●世界に広がった漫画とアニメ ▲学校、生活 ◇説明する、描写する、質問する、あいづちを打つ、意見を言う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞 主格（that / which / who）が理解できる。</li> <li>・説明文の概要をとらえることができる。</li> <li>・自己PRカードで、まとまりのある文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞 主格（that / which / who）について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に関係代名詞 主格（that / which / who）を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
10月	<b>Reading for Fun 1</b> Zorba's Promise	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語のおおまかな流れなどを理解するために、ネコのゾルバとカモメのラッキーについて書かれた物語を読んで、概要を捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を読んで、物語のおおまかな流れなどを理解し、概要を捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を読んで、物語のおおまかな流れなどを理解し、概要を捉えようとしている。</li> </ul>
10月	<b>Lesson 5 I Have a Dream</b> ●アメリカの公民権運動 ▲社会、生活 ◇質問する、説明する、あいづちを打つ、描写する、発表する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞 目的格（that / which）と接触節が理解できる。</li> <li>・物語文の概要をとらえることができる。</li> <li>・招待状を正確に書くことができる。</li> <li>・インタビューに即興で答えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞 目的格（that / which）と接触節について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に関係代名詞 目的格（that / which）と接触節を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>



11月	Project 2 国際交流イベントに出展しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流イベントでブースを出すために、選考方法や選考基準が書かれた募集案内を読んだりして、自分の住んでいる町や地域の文化についてアピールできることを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集案内を読んだりして、自分の住んでいる町や地域の文化についてアピールできることを、簡単な語句や文を用いて話している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集案内を読んだりして、自分の住んでいる町や地域の文化についてアピールできることを、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</li> </ul>
11月 ～ 12月	Lesson 6 Imagine to Act ●空想する勇気、行動する勇気 ▲学校、生活 ◇質問する、あいづちを打つ、仮定する、発表する、意見を言う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮定法過去が理解できる。</li> <li>・意見文の要点をとらえることができる。</li> <li>・詩を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮定法過去について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に仮定法過去を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
1月	Lesson 7 For Our Future ●中学生活の思い出、英語を学ぶ意義 ▲社会、生活 ◇質問する、意見を言う、褒める、礼を言う、申し出る、約束する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間接疑問と help + A + 動詞の原形が理解できる。</li> <li>・意見文の要点をとらえることができる。</li> <li>・スピーチでまとまりのある内容を話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間接疑問と help + A + 動詞の原形について理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に間接疑問と help + A + 動詞の原形を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
2月	3年間総整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間で学習した語彙、語法、文構造を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙、語法、文構造を活用し、入試の問題・長文を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長文を理解し、概要を捉えようとしている。</li> </ul>
2月	Project 3 ディスカッションをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の隣の空き地に作る施設を決めるために、わかば市のウェブサイトに掲載された市民の意見を聞いたり読んだりして、必要だと思う施設やその理由を、簡単な語句や文を用いて述べ合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブサイトに掲載された市民の意見を聞いたり読んだりして、必要だと思う施設やその理由を、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブサイトに掲載された市民の意見を聞いたり読んだりして、必要だと思う施設やその理由を、簡単な語句や文を用いて述べ合おうとしている。</li> </ul>
3月	Reading for Fun 2 A Present for You	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語のおおまかな流れを理解するために、ある夫婦について書かれた物語を読んで、概要を捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を読んで、物語のおおまかな流れなどを理解し、概要を捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を読んで、物語のおおまかな流れを理解し、概要を捉えようとしている。</li> </ul>
3月	Reading for Fun 3 Learning from Nature.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオミメティクスについて理解するために、自然界の生き物からヒントを得て作られた商品などについて書かれた説明文を読んで、要点を捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文を読んで、要点を捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文を読んで、要点を捉えようとしている。</li> </ul>



音楽科 年間指導計画・評価計画 第7学年

月	単元名・学習内容・(時間数)	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月～ 6月	思いをこめて合唱しよう(3) ・地区音楽会合唱曲 ・校歌 ・My Voice!	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう(2) ・春	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう(4) ・地区音楽会合奏曲	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
6月～ 7月	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう(2) ・主は冷たい土の中に	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	イメージと音楽の関わりを感じ取ろう(4) ・ジョーズのテーマ (・指揮をしてみよう！) ・Let's Create!	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [知] 音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [思] 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [態] 音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

9月～ 10月	<p>曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の風に</li> <li>・浜辺の歌</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] 音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魔王</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p>	<p>[思] 音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ</li> </ul>	<p>[知] 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p>	<p>[思] リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
11月～12月	<p>日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう（6）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の民謡</li> <li>・生活や社会の中の音楽</li> <li>・アジアの諸民族の音楽</li> <li>・ソーラン節</li> </ul>	<p>[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p> <p>[知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] 音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[思] 音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>[態] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤とんぼ</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雅楽「平調 越天楽」</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</p>	<p>[思] 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

1月～ 3月	<p><b>箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう（5）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 箏曲「六段の調」</li> <li>・ さくらさくら</li> <li>・ My Melody</li> </ul>	<p>[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。</p> <p>[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>[知] 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p>	<p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、とともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>[態] 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>[態] 音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p><b>曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう（4）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業式合唱曲</li> <li>・ 君が代</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] 音色、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

音楽科 年間指導計画・評価計画 第8学年

月	単元名・学習内容・(時間数)	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月～ 6月	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう(2) ・地区音楽会合唱曲 ・リズムゲーム、リズムアンサンブル	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう(2) ・地区音楽会合唱曲	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう(4) ・地区音楽会合奏曲	[知] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
6月～ 7月	音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう(2) ・Let's Create!	[知] 音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう(2) ・交響曲第5番ハ短調 ・指揮をしてみよう!	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	[思] 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう(3) ・荒城の月 ・サンタルチア	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。



9月～ 10月	<p>曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫し、生活や社会の中の音楽の意味や役割について考えよう（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の思い出</li> <li>・Joyful Joyful</li> <li>・生活や社会の中の音楽</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ My Melody</li> </ul>	<p>[知] 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p>	<p>[思] リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
11月 ～12 月	<p>オペラに親しみ、その魅力を味わおう（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アイーダ」から</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p>	<p>[思] 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎「勧進帳」</li> <li>・長唄「勧進帳」から</li> </ul>	<p>[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 [知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [態] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

<p>1月～ 3月</p>	<p><b>日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう（3）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け継ごう！郷土の祭りや芸能</li> </ul>	<p>[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 [知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p>	<p>[思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[感] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [感] ※楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p><b>世界の様々な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう（2）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸民族の音楽</li> </ul>	<p>[知] 諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p>	<p>[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>[感] 諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p><b>仲間とともに、表情豊かに合唱しよう（3）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式合唱曲</li> <li>・校歌</li> <li>・君が代</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[感] ※曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

音楽科 年間指導計画・評価計画 第9学年

月	単元名・学習内容・(時間数)	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月～ 6月	<p>全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花</li> <li>・地区音楽会合唱曲</li> <li>・My Voice!</li> <li>・指揮をしてみよう!</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区音楽会合奏曲</li> <li>・Let's Create!</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 [知] 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p>	<p>[思] リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [思] リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 [態] ※音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
7月	<p>音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルタバ</li> <li>・社会を映し出す音楽</li> <li>・ボレロ</li> <li>・曲のよさをプレゼンしよう</li> </ul>	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。</p>	<p>[思] 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>[態] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

<p>9月～ 10月</p>	<p>ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう（6）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポピュラー音楽</li> <li>・ポピュラー音楽のジャンル</li> <li>・ルールを守って音楽を楽しもう</li> <li>・生活や社会の中の音楽</li> <li>・カントリーロード（ギター）</li> </ul>	<p>[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 [知] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</p>	<p>[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [思] 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [態] 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>11月～12月</p>	<p>日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能「敦盛」</li> <li>・謡「敦盛」</li> <li>・組踊</li> <li>・私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能</li> </ul> <p>音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ My Melody</li> </ul>	<p>[知] 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 [知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>[思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [思] 音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] ※我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [態] ※声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
		<p>[知] 音階の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p>	<p>[思] リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>[態] 音階の特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>

1月～ 3月	<b>曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう（2）</b> ・ Let It Be ・ 帰れソレントへ	[知] 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] ※声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	<b>世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう（2）</b> ・ 世界の諸民族の音楽	[知] 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	[思] 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] ※我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	<b>仲間とともに、表情豊かに合唱しよう（4）</b> ・ 卒業式合唱曲 ・ 校歌 ・ 君が代	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。





保健体育科 年間指導計画・評価計画 第7学年  
 評価の観点・評価規準

月	単元名・学習内容・時間数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4月 5月	陸上短距離走・リレー 四島体育大会個人種目練習 走り高跳び・走り幅跳び・ハードル走	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技は、自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>陸上競技は、古代ギリシアのオリンピック競技やオリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>陸上競技の各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術で動きのポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>陸上競技は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【短距離走・リレー】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。</li> <li>自己に合ったピッチとストライドで速く走ることができる。</li> <li>リレーでは、次走者がスタートするタイミングやバトンを受け渡すタイミングを合わせることができる。</li> </ul> </li> <li>【長距離走】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>腕に余分な力を入れないで、リラックスして走ることができる。</li> <li>自己に合ったピッチとストライドで、上下動の少ない動きで走ることができる。</li> <li>ペースを一定にして走ることができる。</li> </ul> </li> <li>【ハードル走】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>遠くから踏み切り、勢いよくハードルを走り越すことができる。</li> <li>抜き足の膝を折りたんで前に運ぶなどの動作でハードルを越すことができる。</li> <li>インターバルを3又は5歩でリズムカルに走ることができる。</li> </ul> </li> <li>【走り幅跳び】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>自己に適した距離、又は歩数の助走をすることができる。</li> <li>踏切線に足を合わせて踏み切ることができる。</li> <li>かがみ跳びなどの空間動作からの流れの中で着地することができる。</li> </ul> </li> <li>【走り高跳び】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>リズムカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。</li> <li>跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。</li> <li>脚と腕のタイミングを合わせて踏み切り、大きなはざみ動作で跳ぶことができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選んでいる。</li> <li>練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。</li> <li>用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している</li> </ul>
6月	バレーボール バドミントン・卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【ネット型】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>サーブでは、ボールやラケットの中心付近で捉えることができる。</li> <li>ボールを返す方向にラケット面を向けて打つことができる。</li> <li>テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。</li> <li>相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。</li> <li>プレーを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。</li> <li>ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</li> <li>練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>
3月	サッカー・ハンドボール バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【ゴール型】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。</li> <li>マークされていない味方にパスを出すことができる。</li> <li>パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。</li> <li>ボールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。</li> <li>パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</li> <li>練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>
12月	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>【ベースボール型】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>投球の方向と平行に立ち、肩越しにバットを構えることができる。</li> <li>地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。</li> <li>打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。</li> <li>ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。</li> <li>投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げるることができる。</li> <li>決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</li> <li>練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>	

6月 7月	水泳	<p>・水泳は、泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・水泳は、近代オリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・水泳は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。</p>	<p>【クロール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一定のリズムで強いキックを打つことができる。</li> <li>水中で肘を曲げて腕全体で水をキャッチし、S字やI字を描くようにして水をかくことができる。</li> <li>プルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。</li> </ul> <p>【平泳ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蹴り終わりで長く伸びるキックをすることができる。</li> <li>肩より前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。</li> <li>プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び（グライド）をとり進むことができる。</li> </ul> <p>【背泳ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両手を頭上で組んで、腰が「く」の字に曲がらないように背中を伸ばし、水平に浮いてキックをすることができる。</li> <li>水中では、肘が肩の横で60～90度程度曲がるようにしてかくことができる。</li> <li>水面上の腕は、手と肘を高く伸ばした直線的な動きをすることができる。</li> <li>呼吸は、プルとキックの動作に合わせて行うことができる。</li> </ul> <p>【バタフライ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気をつけの姿勢やビート板を用いて、ドルフィンキックをすることができる。</li> <li>両手を前方に伸ばした状態から、鍵穴（キーホール）の形を描くように水をかくことができる。</li> <li>手の入水時とかき終わりのときに、それぞれキックをすることができる。</li> <li>プルのかき終わりと同時にキックを打つタイミングで、顔を水面上に出して呼吸をすることができる。</li> </ul> <p>【スタート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クロール、平泳ぎ、バタフライでは、水中で両足あるいは左右どちらかの足をプールの壁につけた姿勢から、スタートの合図と同時に顔を水中に沈め、抵抗の少ない流線型の姿勢をとって壁を蹴り泳ぎだすことができる。</li> <li>背泳ぎでは、両手でプールの縁やスターティンググリップをつかんだ姿勢から、スタートの合図と同時に両手を前方に伸ばし、抵抗の少ない仰向けの姿勢をとって壁を蹴り泳ぎだすことができる。</li> </ul> <p>【ターン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クロールと背泳ぎでは、片手でプールの壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転し蹴りだすことができる。</li> <li>平泳ぎとバタフライでは、両手で同時に壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転し蹴りだすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己の課題に応じて、泳法の習得に適した練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。</li> <li>用具等の準備や後片付け、計測などの分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</li> <li>水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。</li> </ul>
9月	ダンス 運動会練習 (短距離走・リレー)	<p>・ダンスは、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる言ったり書き出したりしている。</p> <p>・ダンスは、様々な文化の影響を受け発展してきたことについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・それぞれのダンスには、表現の仕方に違いがあることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・ダンスはリズムカルな全身の動きに関連した体力が高まることについて、言ったり書き出したりしている。</p>	<p>【創作ダンス】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①多様なテーマの例を具体的に示し、取り組みやすいテーマを選んで、動きに変化を付けて素早く即興的に表現することができる学習段階</li> <li>②動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化を付けたりして、ひと流れの動きで表現できる。</li> </ol> <p>③表したい感じやイメージを強調して踊ることができる学習段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間とともに、テーマにふさわしい変化と起伏や場の使い方、「はじめ-なか-おわり」の構成で表現して踊ることができる。</li> </ul> <p>【現代的なリズムのダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽のビートに乗れるように、簡単な繰り返しのリズムで踊ることができる。</li> <li>・軽快なリズムに乗って弾みながら、揺れる、回る、ステップを踏んで手をたたく、ストップを入れるなどリズムを捉えて自由に踊ったり、相手の動きに合わせてたりずらしたり、手をつなぐなど相手と対応しながら踊ることができる。</li> <li>・シンクパーションやアフタービート、休止や倍速など、リズムに変化を付けて踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された事例を参考に、自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。</li> <li>提示された踊りのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間やグループの課題や出来映えを伝えている。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、グループへの関わり方を見付けている。</li> <li>体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための表現や交流を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>仲間の手助けをしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>簡単な作品創作などについての話合いに参加しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>
10月	器械運動 (マット運動、跳び箱)	<p>・器械運動には多くの「技」があり、これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことのできる言ったり書き出したりしている。</p> <p>・器械運動は、種目に応じて多くの「技」があり、技の出来映えを競うことを楽しむ運動として多くの人々に親しまれてきた成り立ちがあることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・技の名称は、運動の基本形態を示す名称と、運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動きや姿勢の条件が異なることについて、言ったり書き出したりしている。</p>	<p>【マット運動】</p> <p>(回転系)</p> <p>接点技群(背中をマットに接して回転する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体をマットに順々に接触させて回転するための動き方や回転力を高めるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして回ることができる。</li> <li>・開始姿勢や終末姿勢、組合せの動きや手の置き方などの条件を変えて回ることができる。</li> <li>・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回ることができる。</li> </ul> <p>ほん転技群(手や足の支えで回転する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全身を支えたり突き放したりするための着手の仕方、回転力を高めるための動き方、起き上がりやすくなるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして回ることができる。</li> <li>・開始姿勢や終末姿勢、手の置き方や組合せの動きなどの条件を変えて回ることができる。</li> <li>・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回転することができる。</li> </ul> <p>(巧技系)</p> <p>平均立ち技群(バランスをとりながら静止する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方、バランスの崩れを復元させるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして静止することができる。</li> <li>・学習した基本的な技を発展させて、バランスをとり静止することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>よい技や演技に称賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めようとしている。</li> <li>練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>

		<p>呼び出しの動きがポイントがわかることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動は、それぞれの種目や系などにより主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>発表会には、学習の段階に応じたねらいや行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<p>【跳び相運動】 〈切り返し系〉 切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・踏み切りから上体を前方に振り込みながら着手する動き方、突き放しによって直立体勢に戻して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越すことができる。 ・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。</p> <p>〈回転系〉 回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ・着手後も前方に回転するための勢いを生み出す踏み切りの動き方、突き放しによって空中に飛び出して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越すことができる。 ・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。</p>		
1月	柔道	<ul style="list-style-type: none"> <li>武道は対人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>武道には技能の習得を通して、人間形成を図るという伝統的な考え方があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>武道はそれぞれの種目で、主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>試合の行い方には、ごく簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<p>基本動作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢と組み方では、相手の動きに応じやすい自然体で組むことができる。</li> <li>崩しでは、相手の動きに応じて相手の体勢を不安定にし、技をかけやすい状態をつくることができる。</li> </ul> <p>受け身</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横受け身では、体を横に向け下側の脚を前方に、上側の脚を後方にして、両脚と一方の腕全体で畳を強くたたくことができる。</li> <li>後ろ受け身では、あごを引き、頭をあげ、両方の腕全体で畳を強くたたくことができる。</li> <li>前回り受け身では、前方へ体を回転させ、背中側面が畳に着く瞬間に、片方の腕と両脚で畳を強くたたくことができる。</li> </ul> <p>投げ技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取は膝車をかけて投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>取は支え釣り込み足をかけて投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>取は体落としをかけた投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>取は大腕をかけた投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>取は大外刈りをかけた投げ、受は受け身をとることができる。</li> </ul> <p>固め技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取は、「抑え込みの条件」を満たして相手を抑えることができる。</li> <li>取はけさ固めや横四方固めで相手を抑えることができる。</li> <li>受はけさ固めや横四方固めで抑えられた状態から、相手を体側や頭方向に戻すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、中間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>練習の場面で、中間の伝統的な所作等のよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や簡易な試合を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武道の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。</li> <li>用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</li> <li>禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。</li> </ul>
4月 3月	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>体づくり運動の意義には、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを継続する能力を高める意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>「体ほぐしの運動」には、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」というねらいに応じた行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>体の動きを高めるには、適切な強度、時間、回数、頻度などを考慮して組み合わせる方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>運動の組合せ方には、効率のよい組合せとバランスのよい組合せがあることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<p>○運動</p> <p>【体ほぐしの運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</li> <li>緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</li> <li>いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</li> <li>仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</li> <li>仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</li> </ul> <p>【体の動きを高める運動】</p> <p>（体の柔らかさ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きくリスミカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりすること。</li> <li>体の各部位をゆっくり伸展し、そのままの状態約10秒間維持すること。</li> </ul> <p>（巧みな動き）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろなフォームで様々な用具を用いて、タイミングよく跳んだり転がしたりすること。</li> <li>大きな動作で、ボールなどの用具を、力を調整して投げたり受けたりすること。</li> <li>人と組んだり、用具を利用したりしてバランスを保持すること。</li> </ul> <p>（力強い動き）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の体重を利用して腕や脚を屈伸したり、腕や脚を上げたり下ろしたり、同じ姿勢を維持したりすること。</li> <li>二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりすること。</li> <li>重い物を押したり、引いたり、引いたり、受けたり、振ったり、回したりすること。</li> </ul> <p>（動きを継続する能力）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自分で決めた時間や回数を持続して行うこと。</li> <li>ステップやジャンプなど複数の異なる運動を組み合わせ、エアロビクスなどの有酸素運動を時間や回数を決めて持続して行うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体ほぐしの運動で、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。</li> <li>体の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、仲間との関わり方を見付けている。</li> <li>体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための運動を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>中間の補助をしたり助言したりして、中間の学習を援助しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。</li> <li>ねらいに応じた行い方などについての話合いに参加しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>

保健分野	<p>健康な生活と疾病の予防</p> <p>心身の機能の発達と心の健康</p>	<p>①健康は主体と環境の相互作用のもとに成り立っていることおよび疾病は主体の要因と環境の要因が関わり合って起こることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>②健康を保持増進するためには、年齢や生活環境などに応じた運動習慣を身につけることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>③健康を保持増進するためには、毎日適切な時間に食事をすること、年齢や生活環境などに応じた食事の量をとることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>④健康を保持増進するためには、年齢や生活環境などに応じて休養や睡眠をとることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤健康の保持増進には、年齢や生活環境などに応じた運動、食事、休養および睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>① 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、さまざまな機能が発達する時期があること、発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>② 発育急進期にある思春期には、呼吸器・循環器の機能が発達すること、この時期に適度な運動を継続することで発育・発達が促されることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>③ 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、異性の体や心の理解を通して性に関する適切な態度を身につけ、自分を大切にすることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>④ 思春期になると、生殖機能の成熟に伴って異性への関心や性衝動が生じることから、異性の尊重や性情報への適切な対処など責任ある態度や行動を選択する必要があることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤ 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達することを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥ 思春期においては、自己の認識が深まり自己形成がなされること、それは心の健康と関わりが深いことを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦ 精神と身体は、相互に影響を与え、関わり合っていることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑧ 欲求には生理的欲求、心理的・社会的欲求があり、欲求の実現の状況が心の健康や生活に影響を与えることがあることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑨ 適度なストレスは心の発達に必要なこと、ストレスに適切な対処ができない状況が長く続くと心の健康や生活に悪い影響を与えることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑩ ストレスの原因はさまざま、心の健康を保つには、適切な対処の方法を選択する必要があることを理解しているとともに、リラクゼーションなどの対処の方法ができています。</p>	<p>【全時共通】</p> <p>①健康の成り立ちと疾病の発生要因および生活習慣と健康に関わる事象や情報などを分析・整理し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考・判断し、表現している。</p> <p>②健康の成り立ちと疾病の発生要因および生活習慣と健康について、疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p> <p>① 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報などから、原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連づけたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、ストレスに対処するための方法などを選択している。</p> <p>② 心身の機能の発達と心の健康について、疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>【全時共通】</p> <p>①学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>②自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p> <p>① 学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>
体育理論	運動やスポーツの多様性	<p>① 運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性および競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生み出され発展してきたことを、言ったり書いたりしている。</p> <p>② 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることおよび知ることなどの多様な関わり方があることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>③ 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見つけたり、工夫したりすることが大切であることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>【全時共通】</p> <p>① 運動やスポーツには、さまざまな必要性や関わり方、楽しさがあることを、思考・判断・表現している。</p> <p>② 生涯にわたって多様な形で運動やスポーツに関わり楽しむ方法を考え、他者に伝えたり、ノートなどに記述したりしている。</p>	<p>【全時共通】</p> <p>① 学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>

保健体育科 年間指導計画・評価計画 第8学年

評価の観点・評価規準

月	単元名・学習内容・時間数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4月 5月	陸上短距離走・リレー 四島体育大会個人種目練習 走り高跳び・走り幅跳び・ハードル走	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技は、自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができることについて、言ったり書き出ししたりしている。</li> <li>陸上競技は、古代ギリシアのオリンピック競技やオリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることについて、言ったり書き出ししたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【短距離走・リレー】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。</li> <li>自己に合ったピッチとストライドで速く走ることができる。</li> <li>リレーでは、次走者がスタートするタイミングやバトンを受け渡すタイミングを合わせることができる。</li> </ul> </li> <li>【長距離走】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>腕に余分な力を入れなくて、リラックスして走ることができる。</li> <li>自己に合ったピッチとストライドで、上下動の少ない動きで走ることができる。</li> <li>ペースを一定にして走ることができる。</li> </ul> </li> <li>【ハードル走】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>遠くから踏み切り、勢いよくハードルを走り越すことができる。</li> <li>抜き足の膝を折りたたくで前に運ぶなどの動作でハードルを越すことができる。</li> <li>インターバルを3又は5歩でリズムカルに走ることができる。</li> </ul> </li> <li>【走り幅跳び】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>自己に適した距離、又は歩数の助走をすることができる。</li> <li>踏切線に足を合わせて踏み切ることができる。</li> <li>かがみ跳びなどの空間動作からの流れの中で着地することができる。</li> </ul> </li> <li>【走り高跳び】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>リズムカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。</li> <li>跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。</li> <li>脚と腕のタイミングを合わせて踏み切り、大きなはざみ動作で跳ぶことができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選んでいる。</li> <li>練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。</li> <li>用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している</li> </ul>
6月	バレーボール バドミントン・卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出ししたりしている。</li> <li>球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、言ったり書き出ししたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【ネット型】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスでは、ボールやラケットの中心付近で捉えることができる。</li> <li>ボールを返す方向にラケット面を向けて打つことができる。</li> <li>テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。</li> <li>相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。</li> <li>プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。</li> <li>ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</li> </ul> </li> <li>【ゴール型】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。</li> <li>マークされていない味方にパスを出すことができる。</li> <li>パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。</li> <li>ボールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。</li> <li>パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。</li> </ul> </li> <li>【ベースボール型】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>投球の方向と平行に立ち、肩越しにバットを構えることができる。</li> <li>地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。</li> <li>打球の状況によって壘を進んだり戻ったりすることができる。</li> <li>ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。</li> <li>投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げるることができる。</li> <li>決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>作戦などについての話合いに参加しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</li> <li>練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>
3月	サッカー・ハンドボール ・バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出ししたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【ゴール型】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。</li> <li>マークされていない味方にパスを出すことができる。</li> <li>パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。</li> <li>ボールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。</li> <li>パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。</li> </ul> </li> <li>【ベースボール型】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>投球の方向と平行に立ち、肩越しにバットを構えることができる。</li> <li>地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。</li> <li>打球の状況によって壘を進んだり戻ったりすることができる。</li> <li>ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。</li> <li>投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げることができる。</li> <li>決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>作戦などについての話合いに参加しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</li> <li>練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>
12月	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出ししたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【ベースボール型】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>投球の方向と平行に立ち、肩越しにバットを構えることができる。</li> <li>地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。</li> <li>打球の状況によって壘を進んだり戻ったりすることができる。</li> <li>ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。</li> <li>投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げることができる。</li> <li>決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>作戦などについての話合いに参加しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</li> <li>練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>



6月 7月	水泳	<p>・水泳は、泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・水泳は、近代オリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・水泳は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p>	<p>【クロール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一定のリズムで強いキックを打つことができる。</li> <li>水中で肘を曲げて腕全体で水をキヤッチし、S字やI字を描くようにして水をかくことができる。</li> <li>プルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。</li> </ul> <p>【平泳ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蹴り終わりで長く伸びるキックをすることができる。</li> <li>肩より前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。</li> <li>プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり進むことができる。</li> </ul> <p>【背泳ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両手を頭上で組んで、腰が「く」の字に曲がらないように背中を伸ばし、水平に浮いてキックをすることができる。</li> <li>水中では、肘が肩の横で60～90度程度曲がるようにしてかくことができる。</li> <li>水面上の腕は、手と肘を高く伸ばした直線的な動きをすることができる。</li> <li>呼吸は、プルとキックの動作に合わせて行うことができる。</li> </ul> <p>【バタフライ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気をつけの姿勢やビート板を用いて、ドルフィンキックをすることができる。</li> <li>両手を前方に伸ばした状態から、鍵穴(キーホール)の形を描くように水をかくことができる。</li> <li>手の入水時とかき終わりのときに、それぞれキックをすることができる。</li> <li>プルのかき終わりと同時にキックを打つタイミングで、顔を水面上に出して呼吸をすることができる。</li> </ul> <p>【スタート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クロール、平泳ぎ、バタフライでは、水中で両足あるいは左右どちらかの足をプールの壁につけた姿勢から、スタートの合図と同時に顔を水中に沈め、抵抗の少ない流線型の姿勢をとって壁を蹴り泳ぎだすことができる。</li> <li>背泳ぎでは、両手でプールの縁やスターティンググリップをつかんだ姿勢から、スタートの合図と同時に両手を前方に伸ばし、抵抗の少ない仰向けの姿勢をとって壁を蹴り泳ぎだすことができる。</li> </ul> <p>【ターン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クロールと背泳ぎでは、片手でプールの壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転し蹴りだすことができる。</li> <li>平泳ぎとバタフライでは、両手で同時に壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転し蹴りだすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、中間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己の課題に応じて、泳法の習得に適した練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。</li> <li>用具等の準備や後片付け、計測などの分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</li> <li>水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意している。</li> </ul>
9月	ダンス 運動会練習 (短距離走・リレー)	<p>・ダンスは、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできるということについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・ダンスは、様々な文化の影響を受け発展してきたことについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・それぞれのダンスには、表現の仕方に違いがあることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・ダンスはリズムカルな全身の動きに関連した体力が高まることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p>	<p>【創作ダンス】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>多様なテーマの例を具体的に示し、取り組みやすいテーマを選んで、動きに変化を付けて素早く即興的に表現することができる学習段階</li> <li>動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化を付けたりして、ひと流れの動きで表現できる。</li> <li>表したい感じやイメージを強調するように表現して踊ることができる学習段階</li> </ol> <p>・仲間とともに、テーマにふさわしい変化と起伏や場の使い方で、「はじめ-なか-おわり」の構成で表現して踊ることができる。</p> <p>【現代的なリズムのダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽のビートに乗れるように、簡単な繰り返しのリズムで踊ることができる。</li> <li>軽快なリズムに乗って弾みながら、揺れる、回る、ステップを踏んで手をたたく、ストップを入れるなどリズムを捉えて自由に踊ったり、相手の動きに合わせてたりずらしたり、手をつなぐなど相手と対応しながら踊ることができる。</li> <li>シンクパーションやアフタービート、休止や倍速など、リズムに変化を付けて踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された事例を参考に、自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。</li> <li>提示された踊りのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間やグループの課題や出来映えを伝えている。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、グループへの関わり方を見付けている。</li> <li>体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための表現や交流を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>仲間の手助けをしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>簡単な作品創作などについての話合いに参加しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>
10月	器械運動 (マット運動、跳び箱)	<p>・器械運動には多くの「技」があり、これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことのできるということについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・器械運動は、種目に応じて多くの「技」があり、技の出来映えを競うことを楽しむ運動として多くの人々に親しまれてきた成り立ちがあることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・技の名称は、運動の基本形態を示す名称と、運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動きのポイントがあることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p>	<p>【マット運動】</p> <p>(回転系)</p> <p>接点技群(背中をマットに接して回転する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体をマットに順々に接触させて回転するための動き方や回転力を高めるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして回ることができる。</li> <li>開始姿勢や終末姿勢、組合せの動きや手の着き方などの条件を変えて回ることができる。</li> <li>学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回ることができる。</li> </ul> <p>ほん転技群(手や足の支えで回転する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全身を支えたり突き放したりするための着手の仕方、回転力を高めるための動き方、起き上がりやすくなるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして回ることができる。</li> <li>開始姿勢や終末姿勢、手の着き方や組合せの動きなどの条件を変えて回転することができる。</li> <li>学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回転することができる。</li> </ul> <p>(巧技系)</p> <p>平均立ち技群(バランスをとりながら静止する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バランスよく姿勢を保つための力の入れ方、バランスの崩れを復元させるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして静止することができる。</li> <li>学習した基本的な技を発展させて、バランスをとり静止することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、中間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>提供された練習方法から、自己の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。</li> <li>学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>よい技や演技に称賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めようとしている。</li> <li>練習の補助をしたり仲間を助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</li> <li>健康・安全に留意している。</li> </ul>



		<p>性的な動き方のポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・器械運動は、それぞれの種目や系などにより主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・発表会には、学習の段階に応じたねらいや行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p>	<p>【跳び相運動】 〈切り直し系〉 切り直し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・踏み切りから上体を前方に振り込みながら着地する動き方、突き放しによって直立姿勢に戻して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越すことができる。 ・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。</p> <p>〈回転系〉 回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ・着手後も前方に回転するための勢いを生み出す踏み切りの動き方、突き放しによって空中に飛び出して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越すことができる。 ・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。</p>		
1月	柔道	<p>・武道は対人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・武道には技能の習得を通して、人間形成を図るという伝統的な考え方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・武道はそれぞれの種目で、主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・試合の行い方には、ごく簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p>	<p>基本動作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢と組み方では、相手の動きに応じやすい自然体で組むことができる。</li> <li>崩しでは、相手の動きに応じて相手の姿勢を不安定にし、技をかけやすい状態をつくることができる。</li> </ul> <p>受け身</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横受け身では、体を横に向け下側の脚を前方に、上側の脚を後方にして、両脚と一方の腕全体で畳を強くたたくことができる。</li> <li>後ろ受け身では、あごを引き、頭をあげ、両方の腕全体で畳を強くたたくことができる。</li> <li>前回り受け身では、前方へ体を回転させ、背中側面が畳に着く瞬間に、片方の腕と両脚で畳を強くたたくことができる。</li> </ul> <p>投げ技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取は膝車をかけて投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>取は支え釣り込み足をかけて投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>取は体落としをかけて投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>取は大腰をかけて投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>取は大外刈りをかけて投げ、受は受け身をとることができる。</li> </ul> <p>固め技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取は、「抑え込みの条件」を満たして相手を抑えることができる。</li> <li>取はけさ固めや横四方固めで相手を抑えることができる。</li> <li>受はけさ固めや横四方固めで抑えられた状態から、相手を体側や頭方向に戻すことができる。</li> </ul>	<p>・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、中間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>・提供された練習方法から、自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>・練習の場面で、中間の伝統的な所作等のよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</p> <p>・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や簡易な試合を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</p>	<p>・武道の学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。</p> <p>・用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たそうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。</p> <p>・禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。</p>
4月 3月	体づくり運動	<p>・体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・体づくり運動の意義には、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・「体ほぐしの運動」には、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」というねらいに応じた行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・体の動きを高めるには、適切な強度、時間、回数、頻度などを考慮して組み合わせる方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・運動の組合せ方には、効率のよい組合せとバランスのよい組合せがあることについて、言ったり書き出したりしている。</p>	<p>○運動</p> <p>【体ほぐしの運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</li> <li>緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</li> <li>いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</li> </ul> <p>・仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</p> <p>・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。</p> <p>【体の動きを高める運動】</p> <p>〈体の柔らかさ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きくリズムカールに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりすること。</li> <li>体の各部位をゆっくり伸展し、そのままの状態でも約10秒間維持すること。</li> </ul> <p>〈巧みな動き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろなフォームで様々な用具を用いて、タイミングよく跳んだり転がしたりすること。</li> <li>大きな動作で、ボールなどの用具を、力を調整して投げたり受けたりすること。</li> <li>人と組んだり、用具を利用したりしてバランスを保持すること。</li> </ul> <p>〈力強い動き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の体重を利用して腕や脚を屈伸したり、腕や脚を上げたり下ろしたり、同じ姿勢を維持したりすること。</li> <li>二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりすること。</li> <li>重い物を押ししたり、引いたり、投げたり、受けたり、振ったり、回したりすること。</li> </ul> <p>〈動きを持続する能力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自分で決めた時間や回数を継続して行うこと。</li> <li>ステップやジャンプなど複数の異なる運動を組み合わせ、エアロビクスなどの有酸素運動を時間や回数を決めて継続して行うこと。</li> </ul>	<p>・体ほぐしの運動で、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。</p> <p>・体の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を選んでいる。</p> <p>・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、仲間との関わり方を見付けている。</p> <p>・体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための運動を見付け、仲間に伝えている。</p>	<p>・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。</p> <p>・ねらいに応じた行い方などについての話合いに参加しようとしている。</p> <p>・健康・安全に留意している。</p>

保健分野	<p>傷害の防止健康な生活と疾病の予防</p>	<p>① 傷害の発生要因には、人的要因と環境要因があり、傷害はそれらが相互に関わり合って起こることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>② 交通事故による傷害は、人的要因、環境要因および車両要因に関わり合って起こることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>③ 交通事故による傷害を防ぐには、危険を予測し、安全な行動、環境の改善などを行い、危険を回避することが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>④ 犯罪被害には、人的要因と環境要因が関わっており、犯罪被害を防止するためには、危険を予測し、安全な行動、環境の改善などを行い、危険を回避することが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤ 地震などの自然災害による傷害は、発生直後に起こる一次災害だけでなく、続いて起こる二次災害によっても生じることについて、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥ 地震などの自然災害による傷害を防止するためには、災害に備えた安全対策や災害時の安全な行動が必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦ (発展の内容) 大きな災害が起こったときには、心に大きな傷を受けたり、避難所生活などを強いられるため、自助、共助、公助などが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑧ 傷害による出血や骨折などの際には、迅速かつ適切な手当が傷害の悪化を防止できることなどについて理解したことを言ったり書いたりし、止血法や包帯法を身につけている。</p> <p>⑨ 心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当として心肺蘇生法があることとその方法について理解したことを言ったり書いたりし、胸骨圧迫、AED使用などの心肺蘇生法を身につけている。</p>	<p>【全時共通】</p> <p>① 傷害の防止に関わる事象や情報などを分析・整理し、事故の発生要因や事故防止の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考・判断し、表現している。</p> <p>② 危険の予測を基に、危険を回避したり傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>【全時共通】</p> <p>① 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>
体育理論	<p>運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</p>	<p>① 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果およびルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>② 運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>③ 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>【全時共通】</p> <p>① 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、思考・判断・表現している。</p> <p>② 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、習得した知識を活用して、自己の運動やスポーツの行い方に生かす方法を考え、他者に伝えたり、ノートなどに記述したりしている。</p>	<p>【全時共通】</p> <p>① 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>

保健体育科 年間指導計画・評価計画 第9学年

		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
4月 5月	陸上短距離走・リレー 四島体育大会個人種目練習 走り高跳び・走り幅跳び・ハードル走	・陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。 ・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。	【短距離走・リレー】 ・スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ・後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ることができる。 ・リレーでは、次走者はスタートを切った後スムーズに加速して、スピードを十分に高めることができる。 【ハードル走】 ・スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すことができる。 ・遠くから踏み切り、振り上げ脚をまっすぐに振り上げ、ハードルを低く走り越すことができる。 ・インターバルでは、3又は5歩のリズムを最後のハードルまで維持して走ることができる。 【走り幅跳び】 ・踏み切り前3～4歩からリズムアップして踏み切りに移ることができる。 ・踏み切りでは上体を起こして、地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ脚を素早く引き上げることができる。 ・かがみ跳びやそり跳びなどの空間動作からの流れの中で、脚を前に投げ出す着地動作をとることができる。 【走り高跳び】 ・リズムカルな助走から真上に伸び上がるように踏み切り、体を内側に倒す姿勢を取るようして踏み切りに移ることができる。 ・背面跳びでは踏み切り前の3～5歩で弧を描くように走り、体を内側に倒す姿勢を取るようして踏み切りに移ることができる。 【長距離走】 ・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ることができる。 ・自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。	・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。		
6月	バレーボール バドミントン・卓球	・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。	【ネット型】 ・サーブでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ・ボールを相手側のコートに打ち返すことができる。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。 ・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 【ゴール型】 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。 ・ゴール前に広い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 ・ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れることができる。 ・ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。 ・ゴール前の空いている場所をカバーすることができる。 【ベースボール型】 ・身体の軸を安定させてバットを振りぬくことができる。 ・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ・ねらった方向にボールを打ち返すことができる。 ・スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ることができる。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を走んだり戻ったりすることができる。 ・捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ることができる。 ・ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げることができる。 ・仲間の送球に対して塁上でタイミングよくボールを受けたり、中継したりすることができる。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備える動きをすることができる。	・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。		
12月	ソフトボール	・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。	【ベースボール型】 ・身体の軸を安定させてバットを振りぬくことができる。 ・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ・ねらった方向にボールを打ち返すことができる。 ・スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ることができる。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を走んだり戻ったりすることができる。 ・捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを捕ることができる。 ・ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げることができる。 ・仲間の送球に対して塁上でタイミングよくボールを受けたり、中継したりすることができる。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備える動きをすることができる。	・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。		

6月 7月	水泳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・泳法と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<p>【クロール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことができる。</li> <li>・泳ぎの速さに応じて、顔を横に向ける大きさを調節して呼吸動作を行うことができる。</li> </ul> <p>【平泳ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。</li> <li>・ブルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び（グライド）をとり、1回のストロークで大きく進むことができる。</li> </ul> <p>【背泳ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水面上の腕は肘を伸ばし、肩を支点にして肩の延長線上に小指側からまっすぐ入水することができる。</li> <li>・一連のストロークで、肩をスムーズにローリングさせることができる。</li> </ul> <p>【バタフライ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホールを描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームプル）で進むことができる。</li> <li>・手の入水時のキック、かき終わりの時のキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。</li> </ul> <p>【スタート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール、平泳ぎ、バタフライでは、水中で両足あるいは左右どちらかの足をプールの壁につけた姿勢から、スタートの合図と同時に顔を水中に沈め、抵抗の少ない流線型の姿勢をとって力強く壁を蹴り、各泳法に適した水中における一連の動きから、泳ぎだすことができる。</li> <li>・背泳ぎでは、両手でプールの縁やスターティンググリップをつかんだ姿勢から、スタートの合図と同時に頭を水中に沈めながら力強く壁を蹴り、水中で抵抗の少ない仰向けの姿勢にする一連の動きから、泳ぎだすことができる。</li> </ul> <p>【ターン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロールと背泳ぎでは、プールの壁から5m程度離れた場所からタイミングを計りながら、泳ぎの速度を落とさずに、片手でプールの壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転させ蹴りだすことができる。</li> <li>・平泳ぎとバタフライでは、プールの壁から5m程度離れた場所からタイミングを計りながら、泳ぎの速度を落とさずに、両手で同時に壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転させ蹴りだすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</li> <li>・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</li> <li>・バディやグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。</li> <li>・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</li> </ul>
9月	ダンス 運動会練習 (短距離走・リレー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスには、身体運動や作品創作に用いられる名称や用語があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・それぞれの踊りには、その踊りの特徴と表現の仕方があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・それぞれのダンスの交流や発表の仕方には、簡単な作品の見せ合いや発表会などがあること、見る人も拍手をしたりリズムをとるなどしたりして交流し合う方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<p>【現代的なリズムのダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊ることができる。</li> <li>・軽快なロックでは、全身でビートに合わせて弾んだり、ビートのきいたヒップホップでは膝の上下に合わせて腕を動かしたりストップするようにしたりして踊ることができる。</li> <li>・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。</li> <li>・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。</li> <li>・選択した踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</li> <li>・作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。</li> <li>・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともにダンスを楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</li> <li>・ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>・作品創作などについての話し合いに貢献しようとしている。</li> <li>・一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>
10月	器械運動 (マット運動、跳び箱)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・技と関連させた補助運動や部分練習を取り入れることにより、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・発表会や競技会の行い方があり、発表会での評価方法、競技会での競技方法や採点方法、運営の仕方などがあることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<p>【マット運動】</p> <p>（回転系）</p> <p>撥転技群（背中をマットに接して回転する）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体をマットに順々に接触させて回転するための動き方、回転力を高めるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回ることができる。</li> <li>・開始姿勢や終末姿勢、組合せの動きや支持の仕方などの条件を変えて回ることができる。</li> <li>・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回ることができる。</li> </ul> <p>ほん転技群（手や足の支えで回転する）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全身を支えたり、突き放したりするための着手の仕方、回転力を高めるための動き方、起き上がりやすくなるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回転することができる。</li> <li>・開始姿勢や終末姿勢、支持の仕方や組合せの動きなどの条件を変えて回ることができる。</li> <li>・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回転することができる。</li> </ul> <p>【巧技系】</p> <p>平均立ち技群（バランスをとりながら静止する）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方、バランスの崩れを復元させるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて静止することができる。</li> <li>・姿勢、体の向きなどの条件を変えて静止することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択した技の行い方や技の組合せ方について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</li> <li>・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</li> <li>・選択した技に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</li> <li>・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</li> <li>・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・自己の状況にかかわらず互いに譲り合おうとしている。</li> <li>・仲間に課題を伝え合ったり補助し合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>

		<p>力、運否の力、力などがあつたりしている、言ったり書き出したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで静止することができる。</li> <li>【跳び箱運動】 〈切り直し系〉 切り直し跳び箱上（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・踏み切りから上体を前方に振り込みながら着地する動き方、突き放しによって直立姿勢に戻して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。</li> <li>・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。</li> <li>・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。</li> <li>〈回転系〉 回転跳び箱上（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ・着手後も前方に回転するための勢いを生み出す踏み切りの動き方、突き放しによって空中に飛び出して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。</li> <li>・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。</li> <li>・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。</li> </ul>	<p>つぎつぎといる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに器械運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</li> <li>・器械運動の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</li> </ul>	
1月	柔道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道を学習することは、自国の文化に誇りをもつことや、国際社会で生きていく上で有意義であることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・武道には、各種目で用いられる技の名称や武道特有の運動観察の方法である見取り稽古の仕方があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・武道では、攻防に必要な補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・試合の行い方には、簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<p>【柔道】 基本動作 ・姿勢と組み方では、相手の動きの変化に応じやすい自然体で組むことができる。 <li>・崩しでは、相手の動きの変化に応じて相手の姿勢を不安定にし、技をかけやすい状態をつくることができる。</li> <li>・進退動作では、相手の動きの変化に応じたすり足、歩み足、継ぎ足で、体の移動をすることができる。</li> <li>受け身 ・相手の投げ技に応じて横受け身、後ろ受け身、前回り受け身をとることができる。</li> <li>投げ技 ・取は小内刈りをかけて投げ、受は受け身をとること。</li> <li>・取は大内刈りをかけて投げ、受は受け身をとること。</li> <li>・取は釣り込み腰をかけて投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>・取は背負い投げをかけて投げ、受は受け身をとることができる。</li> <li>投げ技の連絡 〈二つの技を同じ方向にける技の連絡〉 ・大内刈りから大外刈りへ連絡することができる。</li> <li>〈二つの技を違う方向にける技の連絡〉 ・釣り込み腰から大内刈りへ連絡することができる。</li> <li>・大内刈りから背負い投げへ連絡することができる。</li> <li>固め技の連絡 ・取は相手の動きの変化に応じながら、けさ固め、横四方固め、上四方固めの連絡を行うことができる。</li> <li>・受はけさ固め、横四方固め、上四方固めで抑えられた状態から、相手の動きの変化に応じながら、相手を体側や頭方向に戻すことによって逃げるることができる。</li> <li>・相手がうつむきのとき、相手を仰向けに戻して抑え込みに入れることができる。</li> </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</li> <li>・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</li> <li>・選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</li> <li>・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</li> <li>・相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について、自己や仲間の活動を振り返っている。</li> <li>・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに武道を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</li> <li>・武道の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</li> <li>・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>
4月 3月	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・運動を計画して行う際は、どのようなねらいをもつ運動か、偏りがいないか、自分に合っているかなどの運動の原則があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・実生活で運動を継続するには、行いやすいこと、無理のない計画であることなどが大切であることについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<p>【体づくりの運動】 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気持ちよく関わり合ったりすること。 <li>・リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気持ちよく関わり合ったりすること。</li> <li>・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して、気持ちよく関わり合ったりすること。</li> <li>・いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行うことを通して、気持ちよく関わり合ったりすること。</li> <li>・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気持ちよく関わり合ったりすること。</li> <li>【実生活に生かす運動の計画の行い方】 健康に生活するための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。</li> <li>運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践 ・調和のとれた体力の向上を図ったり、選択した運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めたりするために、効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。</li> </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。</li> <li>・健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。</li> <li>・課題を解決するために仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。</li> <li>・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</li> <li>・体づくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組合せの例を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>・一人一人に応じた動きなどの違いを大切にしようとしている。</li> <li>・自己や仲間の課題解決に向けた話合いに貢献しようとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>



保健分野	健康と環境健康な生活と疾病の予防	<p>① 身体には、環境に対してある程度までの適応能力があること、および身体の適応能力を超えた環境は健康に影響を及ぼすことがあることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>② 快適で能率の良い生活を送るための温度、湿度、明るさには一定の範囲（至適範囲）があることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>③ （発展の内容）熱中症は、主体、環境、運動の三つの要因が関わり合っ起こること、暑熱環境に身体が適応できなくなったときに、目まい、頭痛、吐き気、意識障害などの症状が現れ、死亡することもあることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>④ 飲料水は健康と密接な関わりがあること、飲料水を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤ 空気は健康と密接な関わりがあること、室内の空気を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥ 人間の生活、産業、自然災害等によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦ （発展の内容）私たちは、放射線の特性を生かし、医療、農業、工業などで利用していること、空気や水などの環境が放射線で汚染されると健康への影響が懸念されることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑧ 感染症は、病原体が主な要因となって発生し、感染や発病には人の条件だけでなく、自然環境や社会環境も関わっていることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑨ 感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、体の抵抗力を高めることによって予防できることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑩ 性感染症の予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用するなど感染のリスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑪ エイズの予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用する、感染者や他人の血液などには触れないなどHIV感染のリスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑫ 医薬品を効果的に使用するためには、医師や薬剤師の指示に従い、注意書きや説明書をきちんと読んで正しく使用することが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑬ 健康の保持増進、疾病やけがからの回復には、地域の保健センターや保健所などの保健機関や医療機関を利用することが有効であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑭ 健康の保持増進や疾病の予防のためには、健康的な生活行動など個人の取り組みとともに、健康診断や健康相談、予防接種など社会のさまざまな取り組みによって解決が図られていることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑮ 生涯にわたって健康な生活を送るためには、個人が主体的に努力し、社会全体でそれを支援することが重要であることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>[全時共通]</p> <p>① 健康と環境に関わる事象や情報などを分析・整理し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考・判断し、表現している。</p> <p>② 健康と環境について、疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p> <p>[全時共通]</p> <p>① 感染症の予防および健康を守る社会の取り組みに関わる事象や情報などを分析・整理し、感染症予防のための原則や概念を明らかにしたり、保健・医療機関を活用する方法を考えたりするため、自他の課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考・判断し、表現している。</p> <p>② 感染症の予防および健康を守る社会の取り組みについて、疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>[全時共通]</p> <p>① 学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p> <p>[全時共通]</p> <p>① 学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>
体育理論	文化としてのスポーツの意義	<p>① スポーツは、文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>② オリンピックやパラリンピックおよび国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>③ スポーツは、民族や国、人種や性、障がいの有無などの違いを超えて人々を結び付けていることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>[全時共通]</p> <p>① スポーツが、文化的な生活、国際親善、世界平和、人々の結び付きなどに果たす役割について、思考・判断・表現している。</p> <p>② 文化としてのスポーツの意義について、習得した知識を活用して、自己のスポーツとの関わり方に生かす方法を考え、他者に伝えたり、ノートなどに記述したりしている。</p>	<p>[全時共通]</p> <p>① 学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>



## 美術科 年間指導計画・評価計画 第7学年

月	単元名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4～5	見ることからの発見（6時間） ・絵・彫刻	<u>知識</u> 描くものの形や色彩、それらを全体のイメージで捉えることを理解している。  <u>技能</u> 描画材料の特性を生かし、描き方を工夫して表している。	<u>発想・構想</u> 身近なものの特徴、よさや美しさなどから主題を生み出し、描きたいものを考え工夫して構想をしている。  <u>鑑賞</u> 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図について考え、見方や感じ方を広げている。	<u>表現</u> 美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものがもつ形や色彩などから構想を練るなどして工夫して表す活動に楽しく取り組もうとしている。  <u>鑑賞</u> 美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものがもつ形や色彩などをもとに見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
5	伊藤若冲の世界（1時間） ・鑑賞	<u>知識</u> 形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに若冲の作品について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	<u>鑑賞</u> 作品がもつよさや美しさを感じ取り、若冲の意図や表現の工夫や関連する美術文化について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げている。	<u>鑑賞</u> 美術の創造活動の喜びを味わい、若冲の作品や関連する美術文化の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
5～7	焼き物をつくる（8時間） ・デザイン・工芸	<u>知識</u> 形や色彩、粘土の性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに作品全体のイメージで捉えることを理解している。  <u>技能</u>	<u>発想・構想</u> 使う目的や条件などをもとに、使用する者の気持ちや粘土から主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。  <u>鑑賞</u>	<u>表現</u> 美術の創造活動の喜びを味わい、生活で使う目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。  <u>鑑賞</u>

		粘土や用具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって表している。	目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、焼き物の作者の心情や表現の意図と工夫、生活を美しく豊かにする美術の働きなどについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、生活で使う目的や機能をもった焼き物の作品の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
7～9	形と色彩のメッセージ（7時間） ・デザイン・工芸	<b>知識</b> 形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。 <b>技能</b> 材料や用具の使い方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって表している。	<b>発想・構想</b> 伝える目的や条件などをもとに、伝える相手や内容などから主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。 <b>鑑賞</b> 伝える目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	<b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、伝える目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。 <b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、伝える目的や機能をもった作品を鑑賞する学習活動に楽しく取り組もうとしている。
10	機能と美しさの調和（1時間） ・鑑賞	<b>知識</b> 形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、デザインの考え方を理解している。	<b>鑑賞</b> 用具がもつ目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫、生活を美しく豊かにする美術の働きなどについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	<b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、目的や機能をもった用具の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
10～11	ロゴマークで印象づける（7時間） ・デザイン・工芸	<b>知識</b> 形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。	<b>発想・構想</b> 伝える目的や条件などをもとに、ロゴマークなどの特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和	<b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、ロゴマークなどの伝える目的や機能などを

		<p><b>技能</b></p> <p>材料や用具の使い方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって表している。</p>	<p>のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>考えた表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、ロゴマークなどの伝える目的や機能をもった作品の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。</p>
11	<p>祭りの造形（1時間）</p> <p>・鑑賞</p>	<p><b>知識</b></p> <p>形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などをもとに、伝統行事に生きる地域の文化遺産などについて全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p>	<p><b>鑑賞</b></p> <p>伝統文化に生きる地域の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p><b>鑑賞</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝統文化に生きる地域の文化遺産などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
11～12	<p>人の姿・動き（4時間）</p> <p>・絵・彫刻</p>	<p><b>知識</b></p> <p>形や色彩などが感情にもたらす効果や、人体がもつ動きや量感など造形的な特徴などをもとに、人体がもつよさや美しさ、生命感を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p><b>技能</b></p> <p>材料や用具の使い方を身につけ、意図に応じて描き方やつくり方を工夫し、制作の順序を考えながら見通しをもって表している。</p>	<p><b>発想・構想</b></p> <p>人体から感じ取ったよさや美しさ、生命感から主題を生み出し、全体の構成を考えながら表現する構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>人体の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を広げている。</p>	<p><b>表現</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、人体がもつ形や色彩の美しさ、面白さをもとに構想を練ったり、意図に応じて工夫したり表す活動に楽しく取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、人体がもつ形や色彩、生命感などをもとに見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。</p>
1	<p>心ひかれる風景（5時間）</p> <p>・絵・彫刻</p>	<p><b>知識</b></p>	<p><b>発想・構想</b></p>	<p><b>表現</b></p>

		<p>形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、身近な風景がもつよさや美しさを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p><b>技能</b> 道具の使い方を身につけ、描き方を工夫して表している。</p>	<p>風景から感じ取った形や色彩のよさや美しさなどから主題を生み出し、全体の構成を考えながら構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b> 風景画がもつ造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、風景がもつ形や色彩、奥行きや広がりをもとに、主題を生み出し、構想を練るなどして工夫して表す活動に楽しく取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、風景がもつ形や色彩、奥行きや広がりなどをもとに、見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。</p>
2～3	<p>紙でつくる（5時間）</p> <p>・デザイン・工芸</p>	<p><b>知識</b> 形や色彩、紙の性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。</p> <p><b>技能</b> 紙や用具の使い方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって表している。</p>	<p><b>発想・構想</b> 構成や装飾の目的や条件などをもとに、紙の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b> 紙を用いた作品がもつ目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫、生活を美しく豊かにする美術の働きなどについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p><b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能などを考えた紙を材料にした表現の学習活動に楽しく取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、構成や装飾の目的や機能をもった紙の作品の鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。</p>

## 美術科 年間指導計画・評価計画 第8学年

月	単元名・学習内容・ 時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	ゲルニカで伝えたか ったこと（1時間） ・鑑賞	<p><b>知識</b></p> <p>形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、ゲルニカを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。</p>	<p><b>鑑賞</b></p> <p>表現の特質などからゲルニカがもつよさや意味深さを感じ取り、ピカソの制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会的背景について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>鑑賞</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、ピカソの制作の意図や表現の工夫、ゲルニカや関連する美術文化や社会的背景を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
4～5	版表現の可能性（8 時間） ・絵・彫刻	<p><b>知識</b></p> <p>版表現を通して形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。</p> <p><b>技能</b></p> <p>版表現の材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し制作の順序を考えながら見通しをもって表している。</p>	<p><b>発想・構想</b></p> <p>対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどをもとに主題を生み出し、画面全体の調和や材料の特徴などを考え創造的な構成を工夫しながら心豊かに版表現の構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>版表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考え、美意識を高め見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>表現</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさや面白さをもとに構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする版表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく版表現を用いた作品などの見方や感じ方を広げる学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
6	造形表現のパワー （1時間） ・鑑賞	<p><b>知識</b></p> <p>形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに古代の作品について量感や動勢など全体のイメージや作風でとらえることを理解している。</p>	<p><b>鑑賞</b></p> <p>古代の作品がもつよさや美しさを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、関連する古代の文化について考えたり、美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>鑑賞</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい古代の美術作品や関連する古代の文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

<p>6～ 10</p>	<p>場と形の響き合い (11時間) ・絵・彫刻</p>	<p><b>知識</b> 形や色彩、材料の質感や周囲の環境などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、それらがもつ美しさや豊かさ、環境との調和などについて全体のイメージでとらえることを理解している。</p> <p><b>技術</b> 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序や環境との関係性などを総合的に考えながら見通しをもって表している。</p>	<p><b>発想・構想</b> 対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の特徴などを考え、創造的な構成を工夫するなどして、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b> 対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、想像したこと、まわりの空間との関係性などをもとにつくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考えたり、身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて考えたりするなどして見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをもとに創造的に構成するなどして制作された立体の表現活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間との関係性などがもたらす美しさや豊かさなどをもとに制作された立体の作品について鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>11</p>	<p>日本らしさ② 金の表現、墨の表現 (1時間) ・鑑賞</p>	<p><b>知識</b> 形や色彩、金や墨など材料の性質や、余白や空間の効果をもとに障屏画や水墨画の美術作品について全体のイメージや作風でとらえることを理解している。</p>	<p><b>鑑賞</b> 作品がもつよさや美しさを感じ取り、障屏画や水墨画の作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、障屏画や水墨画の作品や関連する美術文化のなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>11</p>	<p>パッケージで魅力を伝える(4時間) ・デザイン・工芸</p>	<p><b>知識</b> 形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。</p> <p><b>技術</b></p>	<p><b>発想・構想</b> 使う目的や条件などをもとに、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、包み込むパッケージの機能と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b></p>	<p><b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、機能と美しさとの調和などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫</p>



		意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	包み込むパッケージの機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 <b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、包み込むパッケージデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えて見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
1 2	日本らしさ⑤ 美術がつなぐ世界と日本（1時間） ・鑑賞	<b>知識</b> 形や色彩、材料などの性質、余白や空間が感情にもたらす効果をもとに日本と日本の作品から影響を受けた欧米諸国の作品の関係性や、それらを全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	<b>鑑賞</b> 日本と日本の作品から影響を受けた欧米諸国の作品がもつよさや美しさを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	<b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、日本と日本の作品から影響を受けた欧米諸国の作品や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
1 2	安心と安全のデザイン（1時間） ・デザイン・芸	<b>知識</b> 形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。 <b>技能</b> 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	<b>発想・構想</b> 目的や条件などをもとに、伝える相手や場所、伝達方法、機知やユーモアなどから主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 <b>鑑賞</b> 安心と安全のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創	<b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさや面白さなどとの調和、統一感を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 <b>鑑賞</b>

			<p>造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、安心と安全のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
1～3	<p>風景が語るもの（7時間）</p> <p>・絵・彫刻</p>	<p><b>知識</b></p> <p>形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに奥行きや広がりなどを全体のイメージでとらえることを理解している。</p> <p><b>技能</b></p> <p>描画材料の特性を生かし、意図に応じて自分の描き方を追求して表している。</p>	<p><b>発想・構想</b></p> <p>身近な風景から感じ取った形や色彩のよさや美しさなどから主題を生み出し、単純化や省略など全体の構成を考えながら心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>風景画の造形的なよさや美しさを感じ取り、身近な風景を表現するための作者の心情や意図、創造的な工夫について考えたり、身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きなどについて考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>表現</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものがもつ形や色彩などから構想を練るなどして工夫して表す活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものがもつ形や色彩などから構想を練るなどして工夫して表す活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

美術科 年間指導計画・評価計画 第9学年

月	単元名・学習内容・ 時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	祈りの造形、仏像の 美（2時間） ・鑑賞	<b>知識</b> 形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに仏像について空間の効果、量感や動勢など全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	<b>鑑賞</b> 仏像がもつよさや美しさ、優しさや力強さ、静寂さなどを感じ取り、それぞれの時代ごとの表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	<b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい仏像や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
4～9	形を研ぎ澄ませて （12時間） ・絵・彫刻	<b>知識</b> 形や色彩、材料の質感やまわりの空間などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、それらがもつ強さや美しさ、緊張感などを全体のイメージでとらえることを理解している。 <b>技能</b> 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって表している。	<b>発想・構想</b> 対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとに主題を生み出し、省略や強調、材料の特徴などを考え、創造的な構成を工夫するなどして、心豊かに表現する構想を練っている。 <b>鑑賞</b> 対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像したことなどをもとにつくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図などについて考え、見方や感じ方を深めている。	<b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをもとに創造的に構成するなどして制作された立体の表現活動に主体的に取り組もうとしている。 <b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさ、材料の質感やまわりの空間がもたらす効果などをもとに創造的に構成するなどして制作された立体作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
10	誰にでもわかりやすく伝える（1時間） ・デザイン・工芸	<b>知識</b> 形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを	<b>発想・構想</b> 目的や条件などをもとに、伝える相手や施設、場面などのイメージなどから主題を生み出し、	<b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果

		<p>もとに、見立てたり心情などと関連づけたりして全体のイメージでとらえることを理解している。</p> <p><b>技能</b></p> <p>意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。</p>	<p>形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、機知やユーモア、わかりやすさと美しさなどの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>や、わかりやすさと美しさなどの調和などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
10	<p>生活に生きる伝統工芸（2時間）</p> <p>・鑑賞</p>	<p><b>知識</b></p> <p>形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、それらがもたらす造形的な特徴などをとらえることを理解している。</p>	<p><b>鑑賞</b></p> <p>伝統工芸品の目的や機能と調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えたり、美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>鑑賞</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、伝統工芸品の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>
10～12	<p>自分と向き合う（10時間）</p> <p>・絵・彫刻</p>	<p><b>知識</b></p> <p>形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをとらえることを理解している。</p> <p><b>技能</b></p> <p>描画材料の特性を生かし、意図に応じて自分の描き方を追求して表している。</p>	<p><b>発想・構想</b></p> <p>自分自身の表情や姿から感じ取ったことや考えたことなどから主題を生み出し、単純化や強調など全体の構成を考えながら心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p><b>鑑賞</b></p> <p>自画像の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分自身を表現するための作者の心情や意図と創</p>	<p><b>表現</b></p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、自分自身から感じ取ったことや自分自身について考えたことなどをもとにした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞</b></p>

			造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、自画像の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
1 2	ルネサンス、人間の 発見（1時間） ・鑑賞	<b>知識</b> 形や色彩、材料などの性質、立体感や遠近感などをもとにルネサンスの美術について全体のイメージや作風でとらえることを理解している。	<b>鑑賞</b> 西洋で受け継がれてきた表現の特質などからルネサンスの美術作品がもつよさや美しさ、静けさなどを感じ取り、新たな表現を目指した作者の制作の意図や表現の工夫、関連する文化や社会について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	<b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わいルネサンスの美術作品や関連する美術や科学などの文化を考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
1～3	形と色彩が織りなす イメージ（7時間） ・絵・彫刻	<b>知識</b> 形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに抽象的な表現について全体のイメージでとらえることを理解している。 <b>技能</b> 材料や用具の生かし方を身につけ、意図に応じて作り方を工夫し制作の順序を考えながら見通しをもって表している。	<b>発想・構想</b> 感じ取ったこと、考えたこと、深く見つめたこと、偶然性などから主題を生み出し、単純化や省略、強調や再構成などを考えながら材料や用具の特徴を生かし心豊かに表現する構想を練っている。 <b>鑑賞</b> 抽象的な表現の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	<b>表現</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったこと、考えたこと、深く見つめたこと、偶然性などをもとにした抽象的な表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 <b>鑑賞</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったこと、考えたこと、深く見つめたこと、偶然性などをもとにした抽象的に表現された作品の鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。





## 技術科 年間指導計画・評価計画 第7学年

月	単元名・学習内容 時間数・観点	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 ～ 3月	<p>○ガイダンス (2時間)</p> <p>A 材料と加工に関する技術                      &lt;一枚板を活用した製作&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と加工の技術の原理・法則と仕組み A (1)</li> <li>・材料と加工の技術による問題解決 A (2)</li> <li>・社会の発展と材料と加工の技術 A (3)</li> </ul> <p>(26時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。</li> <li>・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。</li> <li>・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。</li> <li>・材料と加工の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul>
9月 ～ 1月	<p>B 生物育成に関する技術                      &lt;ダイコンの袋栽培、ナギの栽培&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物育成の技術の原理・法則と仕組み B (1)</li> <li>・生物育成の技術による問題解決 B (2)</li> </ul> <p>(7時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。</li> <li>・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術に込められた問題解決の工夫について考えている。</li> <li>・問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> </ul>

## 技術科 年間指導計画・評価計画 第8学年

月	単元名・学習内容 時間数・観点	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 ～ 12月	<p>C エネルギー変換に関する技術 ＜LEDスタンドの製作＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーの変換の技術の原理・法則と仕組み C(1)</li> <li>・エネルギーの変換の技術による問題解決 C(2)</li> <li>・社会の発展とエネルギー返還の技術 C(3)</li> </ul> <p>(A 材料と加工に関する技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と加工の技術による問題解決 A(2)</li> </ul> <p>(2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。</li> <li>・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解している。</li> <li>・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。</li> <li>・問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。</li> <li>・技術の評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。</li> <li>・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> </ul>
12月 ～ 3月	<p>D 情報に関する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の技術の原理・法則と仕組み D(1)</li> <li>・計測・制御のプログラミングによる問題解決 D(3)</li> </ul> <p>(6時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解している。</li> <li>・計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。</li> <li>・問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> </ul>
4月 ～ 10月	<p>B 生物育成に関する技術 ＜あめりかいもの栽培＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物育成の技術による問題解決 B(2)</li> <li>・社会の発展と生物育成の技術 B(3)</li> </ul> <p>(4時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身につけている。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。</li> <li>・生物育成の技術の評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul>

## 技術科 年間指導計画・評価計画 第9学年

月	単元名・学習内容 時間数・観点	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 ～ 12月	<b>A 材料と加工に関する技術</b> <キーホルダーの作成> ・材料と加工の技術による問題解決 A (2) ・社会の発展と材料と加工の技術 A (3) (11, 5時間)	・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能が身についている。  ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解している。	・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。  ・材料加工の技術を評価し適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。  ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
12月 ～ 3月	<b>D 情報に関する技術</b> ・双方向性のあるコンテンツのプログラムによる問題解決 D (2) ・計測・制御のプログラミングによる問題解決 D (3) ・社会の発展と情報の技術 D (4) (6時間)	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。  ・計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。  ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、情報の技術の概念を理解している。	・問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。  ・問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。  ・情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。  ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。  ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。



令和6年度 技術・家庭(家庭分野)年間指導計画 第7学年

月	題材名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	A 家族・家庭生活 C 消費生活・環境 ・家庭分野ガイダンス(1) ・自分の成長と家族・家庭生活、持続可能な社会(1)	○自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解しているとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。		
5～7月	B 衣食住の生活 ・食事の役割と食習慣(2) ・中学生に必要な栄養を満たす食事(4)	○生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。	○自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
		○栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。 ○中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	○中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
	B 衣食住の生活 ・肉の調理(5) ※食品の選択と保存を扱う	○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ○材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	○日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	B 衣食住の生活 ・生活の課題と実践「家族に食事をつくらう」(1)		○中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ○食生活から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善	○家族と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭で実践しようとしている。

			し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
9月～11月	B 衣食住の生活 ・生活を豊かにするものの製作(10)	○製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
12月～3月	B 衣食住の生活 ・目的に応じた衣服の選択(6) ※和服を扱う ・日常着の手入れと保管(4) ・持続可能な衣生活(1)	○衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ○衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	○衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	B 衣食住の生活 ・生活の課題と実践「家庭で洗濯に挑戦しよう」(課外)		○衣生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、衣生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭で実践しようとしている。



令和6年度 技術・家庭(家庭分野)年間指導計画 第8学年

月	題材名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4～5月	B 衣食住の生活 ・住まいのはたらきとこちよさ(4) ・安全な住まい(3)※高齢者を扱う	○家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ○家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	○家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
6～7月	B 衣食住の生活 ・魚の調理(4)	○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ○材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	○日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
9～11月	B 衣食住の生活 ・生活を豊かにするものの製作(6)	○製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
11～12月	B 衣食住の生活 ・食品の選択と保存(4) ・郷土料理と行事食(2) ※技術分野で栽培したあめりか芋の調理 ※蒸す調理を扱う	○日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ○地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	○日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
1月～3月	C 消費生活・環境、B 衣食住の生活 ・家庭生活と消費(3) ・購入・支払いと生活情報(4) ・消費者被害と消費者の自立(1) ・持続可能な社会(3)	○購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ○売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し	○物資・サービスの購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現す	○よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善

		<p>ているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p> <p>○消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。</p>	<p>るなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
3月	<p>A 家族・家庭生活</p> <p>・自分の成長と家族・家庭生活(1)</p> <p>・生活の課題と実践「一日家事体験」(課外)</p>		<p>○家族・家庭生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>○家族と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭で実践しようとしている。</p>

令和6年度 技術・家庭(家庭分野)年間指導計画 第9学年

月	題材名・学習内容・時間数	評価の観点・評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4～7月	A 家族・家庭生活 ・持続可能な家庭生活(1.5) ・幼児の生活と家族(6)	○家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。	○家族関係をよりよくする方法や協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
		○幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。	○幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
9月～11月	A 家族・家庭生活 ・幼児とのかかわり(5)	○幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。	○幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
11～2月	A 家族・家庭生活 ・家庭生活と地域のかかわり(4) ※ゲートボール交流会と関連させて実施	○家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	○高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
3月	B 衣食住の生活 ・蒸す調理「幼児がよろこぶおやつづくり」(1)	○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ○材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。		

